

# 御代田町新社会体育施設建設 基本計画(案)

令和8年5月

御代田町

# 目次

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| はじめに .....                           | 1  |
| <b>第1章 基本計画の位置づけと御代田町の既存施設の現状と課題</b> |    |
| 1. 基本計画の位置づけ .....                   | 2  |
| 2. 建設予定地と既存施設の現状 .....               | 11 |
| 3. 人口の推移と利用動向 .....                  | 14 |
| 4. 御代田町を取り巻く社会経済とスポーツ情勢 .....        | 16 |
| 5. アンケート・ワークショップの分析 .....            | 18 |
| <b>第2章 御代田町新社会体育施設の基本的な考え方</b>       |    |
| 1. 計画コンセプト .....                     | 22 |
| 2. 施設整備の基本的な考え方 .....                | 22 |
| 3. 施設整備にあたっての課題 .....                | 23 |
| 4. 施設の機能についての考え方 .....               | 24 |
| <b>第3章 御代田町新社会体育施設の整備方針</b>          |    |
| 1. 施設の機能及び規模 .....                   | 27 |
| 2. 施設の設置場所 .....                     | 29 |
| 3. 周辺環境への影響と配慮 .....                 | 30 |
| 4. 敷地利用計画 .....                      | 31 |
| 5. 施設の建築計画 .....                     | 35 |
| <b>第4章 事業計画</b>                      |    |
| 1. 事業スケジュール .....                    | 42 |
| 2. 概算事業費 .....                       | 42 |
| 3. 補助金活用の検討 .....                    | 43 |
| 4. 民間活力導入手法の検討 .....                 | 44 |

## はじめに

御代田町は、浅間山の南麓に位置し、豊かな自然環境と良好な住環境を有する地域です。近年は人口の増加や定住の進展が見られる中、町民の健康づくりや生涯スポーツの推進、地域コミュニティの活性化に資する環境の充実が求められています。

本計画の対象地周辺には、御代田町 B&G 海洋センターをはじめ、ヘルスパイオニアセンター、弓道場、屋内ゲートボール場などの社会体育施設が立地し、これまで町民のスポーツ活動や交流の場として利用されてきました。また、当該施設は指定緊急避難場所としての役割も担っており、地域における重要な公共施設として位置づけられています。

一方で、これらの施設については、整備から一定の期間が経過していることから、施設の維持管理や機能のあり方について検討が求められています。また、スポーツニーズの多様化や利用形態の変化に加え、観覧や交流機能の充実、快適性の向上など、施設に求められる役割も広がりつつあります。

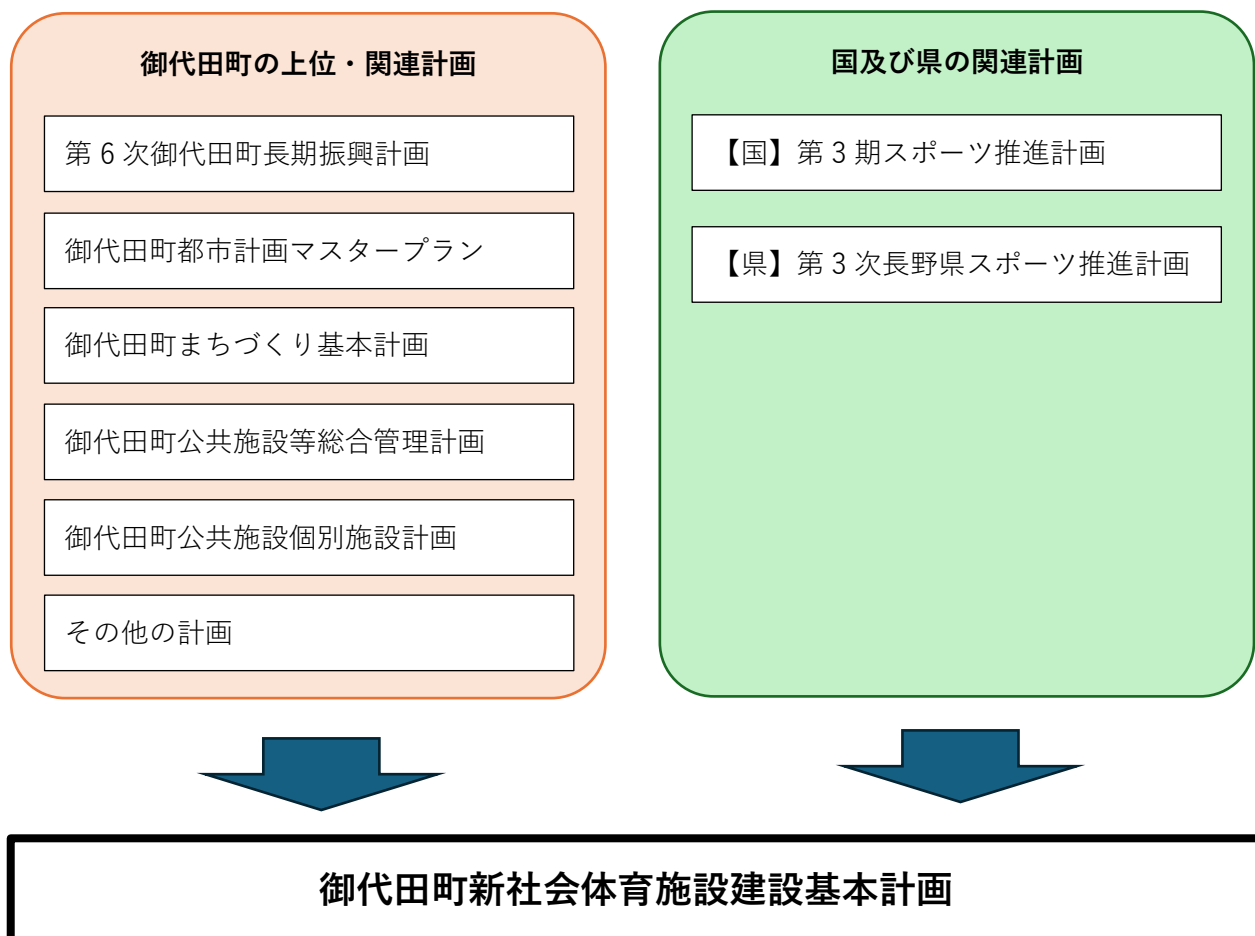
さらに、災害時における避難所としての活用や、安全性への配慮、誰もが利用しやすい環境づくりなど、公共施設としての機能についても整理が必要となっています。

こうした状況を踏まえ、本基本計画は、御代田町における社会体育施設の今後のあり方について整理し、施設の機能、規模、配置および整備の方向性を検討することを目的とするものです。今後は、本計画を基に、より具体的な設計および事業化に向けた検討を進めていくこととします。

# 第1章 基本計画の位置づけと御代田町の既存施設の現状と課題

## 1. 基本計画の位置づけ

本基本計画は、社会教育法、スポーツ基本法などの基本法令のもと、第6次御代田町長期振興計画や御代田町都市計画マスタープラン、御代田町地域防災計画などの上位計画に即した計画です。



## (1)第6次御代田町長期振興計画後期基本計画【令和8年3月策定】

第6次御代田町長期振興計画ではまちの将来像を「未来へつなぐ サステナブルタウン 御代田」と掲げ、やがて訪れる人口減少局面や、社会変化を見据えた持続可能なまちの実現を掲げています。

そのなかで、基本目標2「次世代を育む教育と文化のまち」において、「地域住民が年齢やライフステージを問わず、日常的にスポーツを楽しむ文化が定着し、健康でいきいきとした生活を実現できる環境の整備」を目指し、「新社会体育施設の整備」を掲げています。

第6次御代田町長期振興計画 第3期 御代田町総合戦略

### 5年後に目指す姿

地域住民が年齢やライフステージを問わず、日常的にスポーツを楽しむ文化が定着し、健康でいきいきとした生活を実現できる環境を整備します。

#### 取り組みの方向性

##### 1 社会体育施設の活用

既存施設の計画的な改修や冷暖房機能の整備等を進め、利用者の多様なニーズに配慮します。維持管理体制を強化し、快適で安全に利用できる環境整備を図ります。

##### 2 新社会体育施設の整備

ワークショップやアンケート等を実施し、利用者や町民の意見を踏まえた機能や規模を検討します。防災機能も兼ね備えた施設とします。

##### 3 スポーツを通じた健康づくり

障がいの有無や、世代に応じた運動プログラムを充実させ、町民の運動習慣定着を支援します。健康増進や介護予防の観点から、日常的なスポーツ参加を促進します。

##### 4 世代を超えた交流の促進

多世代が共に楽しめるイベントや交流型のプログラムを展開します。新旧住民の交流や地域コミュニティの活性化を促し、地域の一体感を醸成します。

##### 5 スポーツイベントの実施

町民の多様な関心に応えるイベントを工夫し、参加機会を拡大します。広報を強化して参加の裾野を広げ、スポーツを通じた地域の賑わいを創出します。

前期基本計画

基本目標2

次世代を育む教育と文化のまち

| 成果指標        | 単位     | 令和6年度<br>(実績値) | 令和12年度<br>(目標値) |
|-------------|--------|----------------|-----------------|
| 社会体育施設の利用者数 | 【資料編】人 | 70,680         | 73,500          |

#### 関連する個別計画等

| 計画等の名称            | 開始年度  | 終了年度   |
|-------------------|-------|--------|
| 御代田町新社会体育施設建設基本計画 | 令和7年度 |        |
| 健康みよたマスタープラン      | 令和7年度 | 令和11年度 |
| 御代田町障がい者計画        | 令和6年度 | 令和8年度  |

(2)御代田町都市計画マスタープラン【平成 27 年 6 月策定】

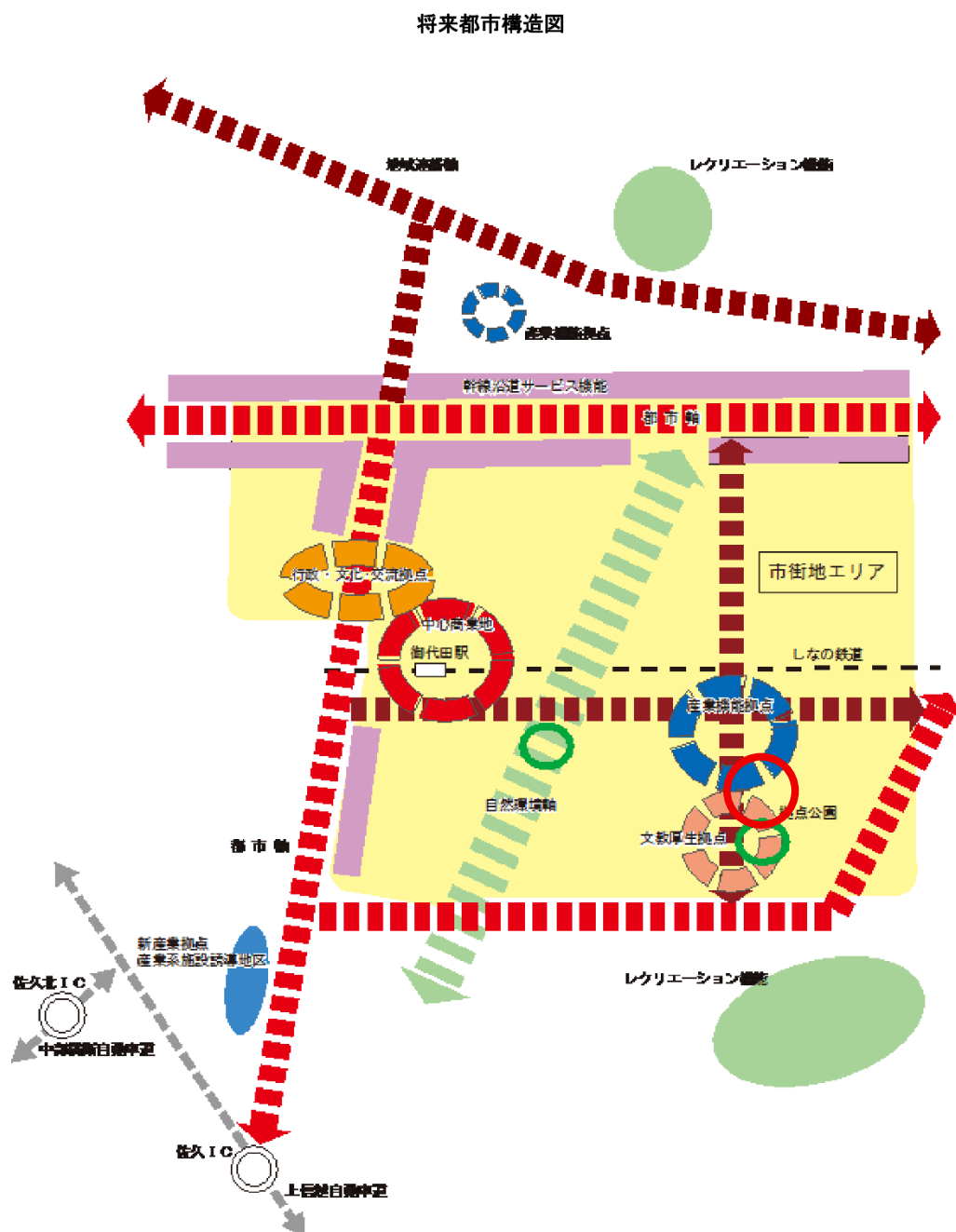
御代田町都市計画マスタープランに掲げる将来都市構造において、本地区は、文教厚生拠点の一角に位置すると考えられます。

文教厚生拠点については、教育・子育て施設と福利厚生機能が集積する当町の次世代育成に寄与する文教厚生核の形成が掲げられています。

## ○第Ⅰ章 全体構想

## 2 将来の土地利用

## (2)将来都市構造



【図】御代田町都市計画マスタープランに一部加筆

### (3)御代田町まちづくり基本計画【令和5年3月策定】

より魅力のあるまちづくり形成の観点から現行の都市計画マスタープランを補完し、立地適正化計画などに基づく土地利用施策や今後の都市計画事業の指針とするものとして策定されたまちづくり基本計画におけるまちづくり目標と方針を以下に示します。

## 3. まちづくりの目標と方針

### (1) まちづくりの目標

まちの成り立ちや特性を踏まえるなかで、御代田町は町全体として、究極的に住みやすく、居住者に選ばれるまちを目指していく。

比較的コンパクトな範囲に展開する多彩な居住環境の魅力を活かし、磨き、各地域に根差した生活文化の継承と新たなライフスタイルの創出を図る。

**究極的に住みやすい・居住者に選ばれるまち**

### (2) まちづくりの基本方針

「究極的に住みやすい・居住者に選ばれるまち」として、他自治体との差別化を図り、町全体で魅力ある居住環境の継承と創出を図っていくため、今後のまちづくりにおいてとくに大事にしたい方針を以下に定める。

#### 方針1 グリーン・ベイストなまちづくり

浅間山麓の地形や地質、水系、植生など自然基盤の機能や魅力を引き出すことにより、自然環境や公園などのみどりの力を最大限に活かす。

#### 方針2 コミュニティ・ベイストなまちづくり

地域内外の人々をつなぐ場やしきをつくり、文化や産業の創出と継承を図ることにより、地域内外の人々のまちへの主体的な関わりと多彩な交流を生み出す。

#### 方針3 セイフティ・ベイストなまちづくり

グリーン・ベイストやコミュニティ・ベイストなまちづくりのもとに、ハード・ソフトの両面から生活上必要な安全性や利便性の確保を図ることにより、暮らし全体でいざというときのリスクを低減し、居住者の安全・安心をもたらす。



暮らしの場全体で、いざというときのリスクを低減し、居住者の安全・安心をもたらす

※「～ベイストな」とは「～を重視した」と「～を大事にした」という意味で用いている。

(4)御代田町公共施設等総合管理計画【令和 4 年 3 月改訂】

体育施設の管理に関する基本的な方針として、総量抑制については、「更新時の社会情勢等により、統廃合を図る。」とされており、主な対象施設としても、本計画の 4 施設が含まれています。

(10) 体育施設

| 総量抑制の方針                                                                                                                                                    | 主な対象施設                                                                                                                                                                             |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 更新時の社会情勢等により、統廃合を図る。                                                                                                                                       | ①B&G 海洋センター<br>②町営グラウンド<br>③ヘルスパイオニアセンター<br>④町営弓道場<br>⑤町営テニスコート<br>⑥町営雪窓公園球場<br>⑦町営雪窓公園屋内ゲートボール場<br>⑧町民芝生広場（芝生グラウンド）<br>⑨やまゆり公園つどい広場<br>（多目的グラウンド）<br>⑩やまゆり公園グラウンドゴルフ場<br>⑪やまゆり体育館 |
| マネジメント方針                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                    |
| ①適切な受益者負担による維持管理を行います。<br>②利用者の年齢層、利用率等を勘案し、活用方法の最適化・統廃合を図ります。<br>③集客能力があるため、付帯事業等による収入の確保を図ります。<br>④町民ニーズに最大限配慮しつつ、広域や専門的なニーズへの対応などに対し、独自の強みを活かした活用を図ります。 |                                                                                                                                                                                    |
| 保全の方針                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                    |
| ①施設の状況を的確に把握し、管理するため、管理データを整備します。<br>②定期点検を行って予防保全的な維持管理を実施します。<br>③修繕履歴データを蓄積することで、更新時期や実態に応じた劣化状況を把握し、適切に更新・修繕を行える環境を整備します。                              |                                                                                                                                                                                    |

平成 29 年 3 月に策定した「御代田町公共施設等総合管理計画」で策定した方針や目標を達成し、公共施設の全庁的・総合的な管理を推進するために、個別施設ごとに具体的な中・長期計画を定めライフサイクルコストの縮減を図り、財政負担を軽減・平準化するとともに、複合化・集約化などにより、さらに効果的・効率的に活用し、町民に安全安心で質の高い施設サービスを提供することを目的としています。

## ■各施設別の実施計画(体育施設)

(百万円)

(百万円)

※2 建物解体費用：単価30,000円/㎡ 公共施設等の解体撤去事業に関する調査結果(平成25年12月 総務省自治財政局地方債課)

※2 建物解体費用：単価30,000円/㎡ 公共施設等の解体撤去事業に関する調査結果(平成25年12月 総務省自治財政局地方債課)

※2 建物解体費用：単価30,000円/㎡ 公共施設等の解体撤去事業に関する調査結果(平成25年12月 総務省自治財政局地方債課)

## (6)第3期スポーツ基本計画【スポーツ庁:令和4年3月策定】

スポーツ基本法に基づき、文部科学大臣が定めるスポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための指針で、第3期計画は、今後のスポーツの在り方を見据え、令和4年度(2022年度)から令和8年度(2026年度)までの5年間で国等が取り組むべき、施策や目標等を定めた計画となっています。

「楽しさ」「喜び」「自発性」に基づき行われる本質的な『スポーツそのものが有する価値』とスポーツを通じた「スポーツが社会活性化等に寄与する価値」を高めるために、3つの視点での施策を展開することとしています。

### 第3期スポーツ基本計画（概要）

#### 【第2期計画期間中の総括】

- ① 新型コロナウイルス感染症：
  - ▶ 感染拡大により、スポーツ活動が制限
- ② 東京オリンピック・パラリンピック競技大会：
  - ▶ 1年延期後、原則無観客の中で開催

- ③ その他社会状況の変化：
  - ▶ 人口減少・高齢化の進行
  - ▶ 地域間格差の広がり
  - ▶ DXなど急速な技術革新
  - ▶ ライフスタイルの変化
  - ▶ 持続可能な社会や共生社会への移行

こうした出来事等を通じて、改めて確認された

- ・「楽しさ」「喜び」「自発性」に基づき行われる本質的な『スポーツそのものが有する価値』(Well-being)
- ・スポーツを通じた地域活性化、健康増進による健康長寿社会の実現、経済発展、国際理解の促進など『スポーツが社会活性化等に寄与する価値』

を更に高めるべく、第3期計画では次に掲げる施策を展開

## 1. 東京オリ・パラ大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に資する重点施策

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>持続可能な国際競技力の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京大会の成果を一過性のものとせず、持続可能な国際競技力を向上させるため、                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・NFの強化戦略プランの実効性を支援</li> <li>・アスリート育成パスウェイを構築</li> <li>・スポーツ医・科学、情報等による支援を充実</li> <li>・地域の競技力向上を支える体制を構築</li> </ul> </li> </ul> | <p><b>共生社会の実現や多様な主体によるスポーツ参画の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京大会による共生社会への理解・関心の高まりと、スポーツの機運向上を契機としたスポーツ参画を促進</li> <li>○ オリパラ教育の知見を活かしたアスリートとの交流活動等を推進</li> </ul> | <p><b>スポーツを通じた国際交流・協力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京大会に向けて、世界中の人々にスポーツの価値を届けたスポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)事業で培われた官民ネットワークを活用し、更なる国際協力を展開、スポーツSDGsにも貢献（ドーピング防止活動に係る人材・ネットワークの活用等）</li> </ul>                                                                                |
| <p><b>大規模大会の運営ノウハウの継承</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の影響下という困難な状況の中で、東京大会を実施したノウハウを、スポーツにおけるホスピタリティの向上に向けた取組も含め今後の大規模な国際競技大会の開催運営に継承・活用</li> </ul>                                                                                                                     | <p><b>地方創生・まちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京大会による地域住民等のスポーツへの関心の高まりを地方創生・まちづくりの取組に活かし、将来にわたって継続・定着</li> <li>○ 国立競技場等スポーツ施設における地域のまちづくりと調和した取組を推進</li> </ul>   | <p><b>スポーツに関わる者の心身の安全・安心確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京大会でも課題となったアスリート等の心身の安全・安心を育む事案に対応するため、                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・講中中傷や性的ハラスメントの防止</li> <li>・熱中症対策の徹底など安全・安心の確保</li> <li>・暴力根絶に向けた相談窓口の一層の周知・活用</li> </ul> </li> </ul> |

## 2. スポーツの価値を高めるための第3期計画の新たな「3つの視点」を支える施策

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>スポーツを「つくる／はくくむ」</b></p> <p>社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し、最適な手法・ルールを考えて作り出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 柔軟・適切な手法や仕組みの導入等を通じた、多様な主体が参加できるスポーツの機会創出</li> <li>◆ スポーツに取り組む者の自主性・自律性を促す指導ができる質の高いスポーツ指導者の育成</li> <li>◆ デジタル技術を活用した新たなスポーツ機会や、新たなビジネスモデルの創出などDXを推進</li> </ul> | <p><b>スポーツで「あつまり、ともに、つながる」</b></p> <p>様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、ともに課題に対応し、つながりを感じてスポーツを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 施設・設備整備、プログラム提供、啓発活動により誰もが一緒にスポーツの価値を享受できる、スポーツを通じた共生社会の実現</li> <li>◆ スポーツ団体のガバナンス・経営力強化、関係団体等の連携・協力による我が国のスポーツ体制の強化</li> <li>◆ スポーツ分野の国際協力や魅力の発信</li> </ul> | <p><b>スポーツに「誰もがアクセスできる」</b></p> <p>性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違いによって、スポーツの取組に差が生じない社会を実現し、機運を醸成。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 住民誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」等の機会の提供</li> <li>◆ 居住地域にかかわらず、全国のアスリートがスポーツ医・科学等の支援を受けられるよう地域機関の連携強化</li> <li>◆ 本人が望まない理由でスポーツを途中で諦めることがない継続的なアクセスの確保</li> </ul> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 3. 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策

|                                                                                                                                         |                                                                                             |                                                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① 多様な主体におけるスポーツの機会創出</p> <p>地域や学校における子供・若者のスポーツ機会充実と体力向上、体育の授業の充実、運動活動効率の推進、女性・障害者・働く世代、子育て世代のスポーツ参加率の向上 等</p>                       | <p>② スポーツ界におけるDXの推進</p> <p>先端技術を活用したスポーツ実施のあり方の拡大、デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの創出 等</p>            | <p>③ 国際競技力の向上</p> <p>中長期の強化戦略に基づく競技力向上支援システムの確立、地域における競技力向上を支える体制の構築、国・JPO・地方公共団体一体となった国民体育大会の開催 等</p> |
| <p>④ スポーツの国際交流・協力</p> <p>国際スポーツ界への意思決定への参画支援、スポーツ産業の国際展開を促進するプラットフォームの検討 等</p>                                                          | <p>⑤ スポーツによる健康増進</p> <p>健康増進に資するスポーツに関する研究の充実、調査研究成果の活用促進、医療・介護や企業、保険者との連携強化 等</p>          | <p>⑥ スポーツの成長産業化</p> <p>スタジアム・アリーナ整備の充実な推進、他産業とのオープンイノベーションによる新ビジネスモデルの創出支援 等</p>                       |
| <p>⑦ スポーツによる地方創生、まちづくり</p> <p>武道やアウトドアスポーツ等のスポーツツーリズムの更なる推進など、スポーツによる地方創生、まちづくりの創出の全国での加齢化 等</p>                                        | <p>⑧ スポーツを通じた共生社会の実現</p> <p>障害者や女性のスポーツの実施環境の整備、国内外のスポーツ団体の女性役員候補者の登用・育成の支援、意識啓発・情報発信 等</p> | <p>⑨ スポーツ団体のガバナンス改革、経営力強化</p> <p>ガバナンス・コンプライアンスに関する研修の実施、スポーツ団体の経営的強固を行う人材の雇用創出を支援 等</p>               |
| <p>⑩ スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材</p> <p>民間・大学も含めた地域スポーツ施設の有効活用促進、地域スポーツコミッションなど地域連携組織の活用、全NFでの人材育成及び活用に関する計画策定を促進、女性のスポーツ指導者に精通した指導者養成支援 等</p> | <p>⑪ スポーツを実施する者の安全・安心の確保</p> <p>暴力や不適切な指導等の根絶に向けた指導者養成・研修の実施、スポーツ安全に係る情報発信・安全対策の促進 等</p>    | <p>⑫ スポーツ・インテグリティの確保</p> <p>スポーツ団体のガバナンスコードの普及促進、スポーツ仲裁・調停制度の理解増進等の推進、教育機関や研究機関等を通じたドーピング防止活動の展開 等</p> |

### 『感動していただけるスポーツ界』の実現に向けた目標設定

全ての人が自発的にスポーツに取り組むことで自己実現を図り、スポーツの力で、前向きで活力ある社会と、絆の強い社会を目指す

|                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>🇯🇵 <b>国民のスポーツ実施率を向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 成人の週1回以上のスポーツ実施率を<b>7.0%</b>（障害者は<b>4.0%</b>）</li> <li>✓ <b>1年に一度以上スポーツを実施する成人の割合を1.0%に近づける</b>（障害者は<b>7.0%を目指す</b>）</li> </ul> | <p>👤 <b>生涯にわたって運動・スポーツを継続したい子供の増加</b></p> <p>（児童86%⇒<b>90%</b>、生徒82%⇒<b>90%</b>）</p> <p>👤 <b>子供の体力の向上</b></p> <p>（新体力テストの総合評価C以上の児童68%⇒<b>80%</b>、生徒75%⇒<b>85%</b>）</p>            | <p>👤 <b>誰もがスポーツに参画でき、共に活動できる社会を実現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 体育授業への参加を希望する障害のある児童生徒の見学ゼロを目指した学習プログラム開発</li> <li>✓ <b>スポーツ団体の女性理事の割合を40%</b></li> </ul>    |
| <p>🏆 <b>オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会で、過去最高水準の金メダル数、総メダル数、入賞者数、メダル獲得競技数等の実現</b></p>                                                                                                                            | <p>👤 <b>スポーツを通じて活力ある社会を実現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>スポーツ市場規模15兆円の達成</b>（2025年まで）</li> <li>✓ <b>スポーツ・健康まちづくり</b>に取り組む地方公共団体の割合15.6%⇒<b>40%</b></li> </ul> | <p>👤 <b>スポーツを通じて世界とつながる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>ポストSFT事業を通じて世界中の国々の700万人の人々への利益を目標に事業を推進</b></li> <li>✓ <b>国際競技連盟（IF）等役員数37人規模の維持・拡大</b></li> </ul> |

(7)第3次長野県スポーツ推進計画【長野県:令和7年3月改定】

国のスポーツ基本計画を参酌して、地方の実状に即してスポーツの推進に関する計画として、今後のスポーツ振興のために必要な具体的施策を定めるとともに、長野県のスポーツ環境の大きな変化、人口減少・少子高齢化などの地域課題を踏まえ、スポーツの持つ力や価値を活用し更に高めることにより、県民一人ひとりの生活や心がより豊かになるといった「ウェルビーイング」の実現を目指し、今後5年間に於いて本県が推進していくスポーツの施策を明らかにするべく、新たなスポーツ推進計画を策定されました。

「スポーツ×●●」など、県の他の施策との相乗効果を発揮させる視点での施策展開、障害の有無などに関わらず、個性を尊重する共生社会の実現に向けたスポーツの活用が掲げられています。

計画期間:2023年度(令和5年度)～2027年度(令和9年度)

第3次長野県スポーツ推進計画【対策強化事業】

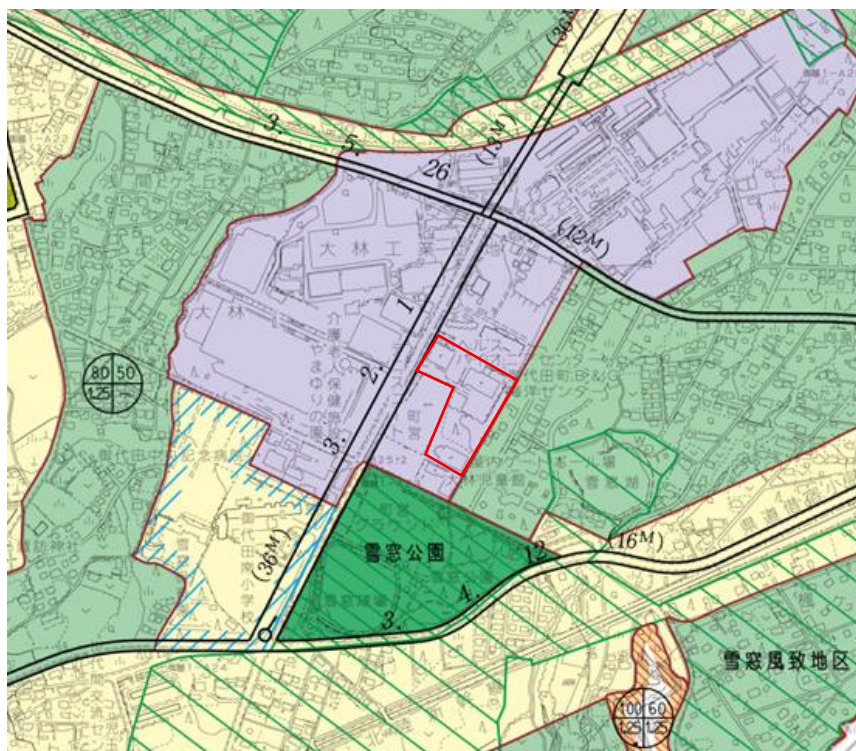
| 第5次計画<br>基本方針<br>施策の柱                                                                |  | 第3次長野県スポーツ推進計画<br>基本方針<br>施策の柱        | 個別計画 | 基本目標                               | R9年度末に目指す姿                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 対策強化事業(新規・拡充)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------|--|---------------------------------------|------|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点をつくる<br>文化芸術・スポーツの身近な環境を整え、共感と交流が生まれる機会をつくる<br>快適でゆとりのある社会生活を創造する |  | 第3次長野県スポーツ推進計画<br>～スポーツの力で切り拓く長野県の未来～ |      | 【基本目標1】<br>子どもの運動<br>スポーツ機会<br>の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体遊びが好きな子どもが増え、屋内外で運動をする子どもが増加</li> <li>【<b>拡</b>】<u>中学生期においてスポーツ活動機会が確保され各種大会への参加が可能</u></li> <li>・持続可能で多様なスポーツ環境の整備とともに多様な体験機会の確保</li> </ul>                                                                                                                                                           | 従来の事業に加え、推進計画の改正に伴い打ち出していく事業<br><b>【<u>拡</u>】【中学生期の部活動の地域クラブへの移行推進】</b><br>・指導者確保のため、指導者リストの拡充・資格取得の推進・ICTによる遠隔指導の実証事業の実施、企業連携による指導者募集・働き方改革<br>・多様なニーズに対応するため、広域連携による活動補償の検討<br>・地域クラブの財政確保の研究、経済的困窮世帯の支援スキーム研究<br><b>【<u>新</u>】【全国中学校体育大会廃止競技に係る県内大会のあり方検討】</b><br>・県中体連、県内競技団体、県教委等とのプロジェクト委員会での検討                                                                                                              |
|                                                                                      |  |                                       |      | 【基本目標2】<br>生涯を通じた<br>スポーツ機会<br>の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・余暇を活用し「する」「みる」「ささえる」等、スポーツライフの充実</li> <li>【<b>新</b>】<u>女性や若者、働き世代がスポーツに親しみ、明るく元気な地域が形成</u></li> <li>・総合型地域スポーツクラブ、スポ少、社会体育団体等が、地域で積極的にスポーツ活動を実施している</li> <li>・障がいの種類等に応じて楽しめるスポーツが普及し、楽しまれている</li> </ul>                                                                                                 | <b>【<u>新</u>】【働き世代の女性・若者が参加しやすいスポーツ環境整備の充実】</b><br>運動実施率の少ない働き世代をターゲットにスポーツ環境の充実を図る<br>・働き世代・子育て世代が利用しやすいスポーツ環境づくり<br>(遠休日・夜間のスポーツ教室設定、キッズスペース・授乳室等の情報提供)<br>・女性特有の健康問題に関する理解促進<br>・女性のニーズに合わせた運動環境・スポーツプログラムの拡大<br>(子どもと一緒に取り組めるプログラム強化等)<br><b>【<u>新</u>】【国スポを契機とした、冬季スポーツ文化の継承】</b><br>・国スポ冬季競技開催競技施設に対する支援策の検討                                                                                                 |
|                                                                                      |  |                                       |      | 【基本目標3】<br>全国や世界で<br>活躍する選手<br>の育成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>【<b>拡</b>】<u>国スポでの天皇杯・皇后杯の獲得を目指すし、本県の競技力が向上</u></li> <li>・県内で選手が育ち、次世代の選手を育成する等、好循環の形成</li> </ul>                                                                                                                                                                                                         | <b>【<u>拡</u>】【信州やまなみ国スポ・全陸スポに向けた競技力対策】</b><br>・選手・指導者を雇用する企業の環境整備及び、大会終了後も持続・定着できるよう、選手と企業を結び付けアスリートの競技環境の整備<br>・これまでの強化事業に加え、合宿・遠征機会の増強、全国トップ選手との対戦機会の充実                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                                                                                      |  |                                       |      | 【基本目標4】<br>スポーツの<br>持つ力の<br>多面的活用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>【<b>新</b>】<u>スポーツアクティビティの充実による誘客において地域経済の活性化</u></li> <li>・県ならではのスポーツを楽しむため来訪者が訪れ、交流が盛んになる</li> <li>【<b>新</b>】<u>スポーツコミュニティの促進により女性・若者に選ばれる地域を形成</u></li> <li>・プロスポーツと連携・協働した事業が盛んに行われている</li> <li>・様々な社会問題へスポーツの力が多面的活用され社会課題解決へ寄与</li> <li>【<b>新</b>】<u>スポーツを通じ障がいに対する理解が深まり、共生社会が実現している</u></li> </ul> | <b>【<u>拡</u>】【スポーツの推進による地域経済の活性化】</b><br>・スキー・サイクリング・アウトドア等のスポーツ・アクティビティを活用した誘客促進策の展開<br>・スポーツコミッションによる県内体育施設の有効活用をした合宿誘致<br><b>【<u>新</u>】【プロスポーツとの連携・協働、スポーツを通じた地域づくり】</b><br>・プロスポーツ観戦・合宿等による県内来訪者への県内周遊促進<br>・女性アスリートと連携し、体験会の実施や、女性特有の健康問題に対する理解促進<br>・多世代が集う総合型地域スポーツクラブにより地域コミュニティを創出<br><b>【<u>拡</u>】【スポーツを通じた共生社会づくり】</b><br>・障がいの有無に関わらず誰もが一緒にスポーツが出来るイベント開催や、環境づくり<br>・プロスポーツチームとの連携による、パラスポーツの体験会や、発信強化 |

## 2. 建設予定地と既存施設の現状

### (1) 建設予定地の概要

対象敷地は、都市計画道路大林中央幹線に隣接し、都市計画公園である雪窓公園に近接しています。

○用途地域：準工業地域(建ぺい率／容積率：60％／200％)



| 凡 例 |               |          |
|-----|---------------|----------|
|     | 市 町 村 界       |          |
|     | 都 市 計 画 区 域 界 |          |
|     | 都 市 計 画 道 路   |          |
|     | 公 園           |          |
|     | 設 施           | その他の都市施設 |
|     | 風 致 地 区       |          |
|     | 地 区 計 画 区 域   |          |

| 用 途 地 域 区 分       | 形 態 区 分 |
|-------------------|---------|
| 第一種低層住居専用地域       |         |
| 指定なし 第二種低層住居専用地域  | —       |
| 第一種中高層住居専用地域      |         |
| 指定なし 第二種中高層住居専用地域 | —       |
| 第一種住居地域           |         |
| 第二種住居地域           |         |
| 準 住 居 地 域         |         |
| 近 隣 商 業 地 域       |         |
| 指定なし 商 業 地 域      | —       |
| 準 工 業 地 域         |         |
| 指定なし 工 業 地 域      | —       |
| 指定なし 工 業 専 用 地 域  | —       |
| 用 途 地 域 指 定 な し   |         |

### (2) 既存施設の現況

#### 1) 施設の位置づけ

御代田町 B&G 海洋センターと御代田町ヘルスパイオニアセンターは、指定緊急避難場所に指定されています。

#### < 指定緊急避難場所対応区分 >

|                  | 土砂災害 | 洪水 | 地震 | 浅間山噴火 |      |
|------------------|------|----|----|-------|------|
|                  |      |    |    | 通常噴火  | 融雪泥流 |
| 御代田町 B&G 海洋センター  | ○    | ○  | ○  | ○     | ○    |
| 御代田町ヘルスパイオニアセンター | ○    | ○  | ×  | ○     | ○    |

(2)既存施設の状況

| 施設名               | B&G 海洋センター                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ヘルスパイオニアセンター                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                   |                                                                                                                                               |                                                            |
| 開設年月              | 昭和 55(1980)年 11 月【45 年】                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 昭和 55(1980)年 3 月【45 年】                                                                                                                                                                                                          |
| 施設規模              | 体育館:747.30 m <sup>2</sup><br>ミーティングルーム:40.67 m <sup>2</sup>                                                                                                                                                                                                                                                      | 435 m <sup>2</sup>                                                                                                                                                                                                              |
| 開館時間等             | <b>【開館時間】</b> 午前 9 時～午後 9 時 30 分 昼夜間<br><b>【休館日】</b> 毎週月曜日(7 月中旬～9 月中旬及び休日は開館)、年末年始                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                 |
| 用途・機能             | バレーボール:2 面<br>バスケットボール:1 面<br>バドミントン:3 面<br>テニス:1 面                                                                                                                                                                                                                                                              | フットサル:1 面<br>バレーボール:1 面<br>テニス:1 面<br>バドミントン:1 面                                                                                                                                                                                |
| 現況・課題(市民意見などを踏まえ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館は、練習や試合などで使用されている。ミーティングルームは、毎月の利用予約の調整会議などで使われている。</li> <li>・待機や観戦のための場所が限られ、体育館利用者以外の利用面での改善のニーズがある。</li> <li>・トイレやシャワー室・更衣室なども老朽化しているとともに、大会時の利用人数に適していないなどの状況がみられる。</li> <li>・夏場の高温状態の対応(エアコン設置等)が必要な状況にある。</li> <li>・御代田町で取り組んでいるモルックはフロアの関係から使用できない。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・フットサルなどでの利用が多くみられる。</li> <li>・待機や観戦のための場所が限られ、体育館利用者以外の利用面での改善のニーズがある。</li> <li>・トイレの老朽化、シャワー室・更衣室などの不足など、B&amp;G 海洋センターと同様の課題がみられる。</li> <li>・夏場の高温状態の対応(エアコン設置等)が必要な状況にある。</li> </ul> |

| 施設名               | 弓道場                                                                                                                                                                                                                                                                   | 屋内ゲートボール場                                                                                                                                                              |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                   |                                                                                                    |   |
| 開設年月              | 昭和 59(1984)年 12 月【41 年】                                                                                                                                                                                                                                               | 平成 3(1991)年 4 月【34 年】                                                                                                                                                  |
| 施設規模              | 99.372 m <sup>2</sup>                                                                                                                                                                                                                                                 | 1,027 m <sup>2</sup>                                                                                                                                                   |
| 開館時間等             | <b>【開館時間】</b> 午前 9 時～午後 9 時 30 分 昼夜間<br><b>【休館日】</b> 毎週月曜日(7 月中旬～9 月中旬及び休日は開館)、年末年始                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                        |
| 用途・機能             | 6人立<br>的場:26.04 m <sup>2</sup><br>夜間照明施設有                                                                                                                                                                                                                             | クレーコート<br>ゲートボール:2 面<br>休憩室・談話室有(シャワー室閉鎖)                                                                                                                              |
| 現況・課題(市民意見などを踏まえ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の弓道場としては大規模であり、夜間でも利用可能な点等が利用者のニーズを満たしている点である。</li> <li>・佐久市の弓道場と同規模(6 人立)であるが、施設の老朽化により、最大人数での利用ができない場合がある。(雨天時など)</li> <li>・弓道場にトイレや更衣室が併設されていないため、B&amp;G 海洋センターのものを利用するなどの状況にある。</li> <li>・4 施設のなかでは、利用率が低い。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲートボールやグラウンドゴルフなどでの利用がある。</li> <li>・とくに冬期は屋外のグラウンドゴルフ場が使用不可のため、利用が多い。</li> <li>・4 施設のなかでは、利用率が低い。</li> </ul>                   |

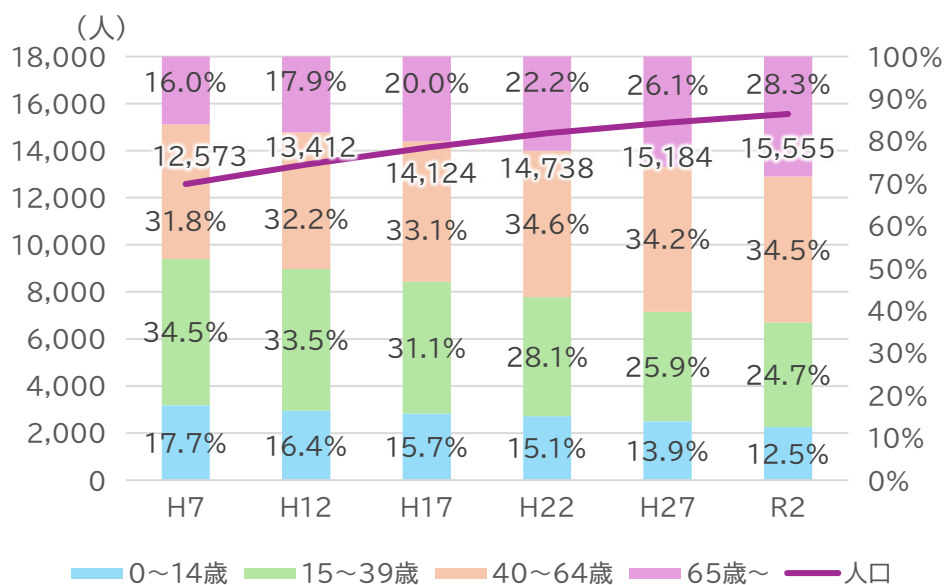
### 3. 人口の推移と利用動向

#### (1)人口の推移

##### 1)人口と年代別割合

本町の人口は、平成7年から増加傾向にあり、15,000 人を超えています。一方で、少子高齢化の傾向も強くなっており、高齢化率は 28%を超えています。

<御代田町の人口と 4 区分年代割合>

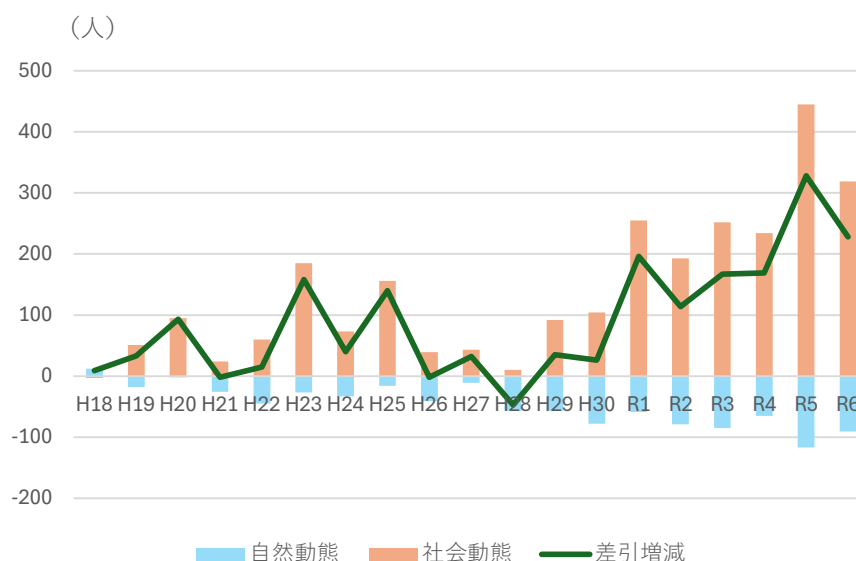


(御代田町統計書)

##### 2)人口増減

本町の人口は、自然動態は減少傾向にありますが、社会動態は増加しており、全体として人口増になっており、とくに、平成 29 年以降は社会動態の増加傾向が強くなっています。

<御代田町の自然動態と社会動態の推移>



(御代田町統計書)

## (2)4 施設の利用状況

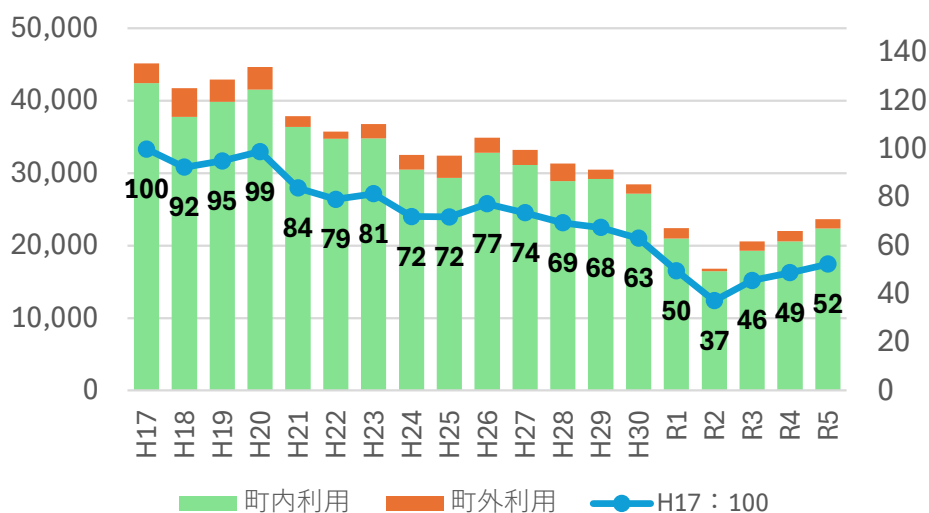
4 施設の利用者は、町内利用が 9 割を超えています。内訳をみると、弓道場は町外からの利用もある状況です。

利用者全体としては減少傾向にあり、令和元年には平成 17 年の半数にまで減少していました。一方で、コロナ禍を機に増加に転じ、令和元年の水位まで回復傾向にあります。

< 4 施設の利用者の推移 >

|     | B&G海洋センター |       |       | ヘルスバイオニアセンター |       |       | 屋内ゲートボール場 |      |        | 町営弓道場 |      |        | 合計     |       |       |
|-----|-----------|-------|-------|--------------|-------|-------|-----------|------|--------|-------|------|--------|--------|-------|-------|
|     | 町内利用      | 町外利用  | 町内利用率 | 町内利用         | 町外利用  | 町内利用率 | 町内利用      | 町外利用 | 町内利用率  | 町内利用  | 町外利用 | 町内利用率  | 町内利用   | 町外利用  | 町内利用率 |
| H17 | 22,652    | 2,171 | 91.3% | 12,913       | 489   | 96.4% | 6,182     | 20   | 99.7%  | 674   | 52   | 92.8%  | 42,421 | 2,732 | 93.9% |
| H18 | 21,549    | 2,901 | 88.1% | 12,435       | 1,076 | 92.0% | 3,100     | 0    | 100.0% | 683   | 0    | 100.0% | 37,767 | 3,977 | 90.5% |
| H19 | 24,269    | 2,373 | 91.1% | 12,419       | 563   | 95.7% | 2,583     | 20   | 99.2%  | 567   | 121  | 82.4%  | 39,838 | 3,077 | 92.8% |
| H20 | 25,589    | 2,407 | 91.4% | 11,537       | 423   | 96.5% | 4,107     | 170  | 96.0%  | 293   | 135  | 68.5%  | 41,526 | 3,135 | 93.0% |
| H21 | 21,689    | 863   | 96.2% | 10,480       | 420   | 96.1% | 3,718     | 0    | 100.0% | 506   | 175  | 74.3%  | 36,393 | 1,458 | 96.1% |
| H22 | 19,439    | 708   | 96.5% | 11,119       | 285   | 97.5% | 3,747     | 0    | 100.0% | 425   | 23   | 94.9%  | 34,730 | 1,016 | 97.2% |
| H23 | 18,883    | 1,633 | 92.0% | 11,892       | 380   | 96.9% | 3,772     | 0    | 100.0% | 232   | 4    | 98.3%  | 34,779 | 2,017 | 94.5% |
| H24 | 16,445    | 1,596 | 91.2% | 10,485       | 436   | 96.0% | 3,144     | 0    | 100.0% | 408   | 17   | 96.0%  | 30,482 | 2,049 | 93.7% |
| H25 | 15,074    | 2,543 | 85.6% | 9,853        | 375   | 96.3% | 4,146     | 30   | 99.3%  | 269   | 152  | 63.9%  | 29,342 | 3,100 | 90.4% |
| H26 | 16,058    | 1,452 | 91.7% | 12,442       | 341   | 97.3% | 3,838     | 15   | 99.6%  | 479   | 285  | 62.7%  | 32,817 | 2,093 | 94.0% |
| H27 | 17,818    | 1,696 | 91.3% | 8,868        | 332   | 96.4% | 3,873     | 15   | 99.6%  | 575   | 49   | 92.1%  | 31,134 | 2,092 | 93.7% |
| H28 | 17,151    | 1,863 | 90.2% | 7,718        | 510   | 93.8% | 3,531     | 15   | 99.6%  | 510   | 53   | 90.6%  | 28,910 | 2,441 | 92.2% |
| H29 | 17,340    | 1,073 | 94.2% | 8,248        | 140   | 98.3% | 3,143     | 0    | 100.0% | 473   | 69   | 87.3%  | 29,204 | 1,282 | 95.8% |
| H30 | 16,620    | 1,066 | 94.0% | 7,840        | 69    | 99.1% | 2,310     | 0    | 100.0% | 400   | 147  | 73.1%  | 27,170 | 1,282 | 95.5% |
| R1  | 13,730    | 1,148 | 92.3% | 5,061        | 100   | 98.1% | 1,765     | 0    | 100.0% | 435   | 153  | 74.0%  | 20,991 | 1,401 | 93.7% |
| R2  | 8,537     | 202   | 97.7% | 6,263        | 84    | 98.7% | 1,513     | 0    | 100.0% | 176   | 29   | 85.9%  | 16,489 | 315   | 98.1% |
| R3  | 12,045    | 1,043 | 92.0% | 6,054        | 50    | 99.2% | 976       | 0    | 100.0% | 201   | 223  | 47.4%  | 19,276 | 1,316 | 93.6% |
| R4  | 12,487    | 1,113 | 91.8% | 6,540        | 53    | 99.2% | 1,376     | 3    | 99.8%  | 201   | 267  | 42.9%  | 20,604 | 1,436 | 93.5% |
| R5  | 13,967    | 757   | 94.9% | 6,654        | 273   | 96.1% | 1,313     | 0    | 100.0% | 409   | 269  | 60.3%  | 22,343 | 1,299 | 94.5% |
| R6  | 14,985    | 299   | 98.0% | 6,862        | 244   | 96.6% | 1,200     | 48   | 96.2%  | 353   | 171  | 67.4%  | 23,400 | 762   | 96.8% |

< 4 施設全体の利用者の推移 >

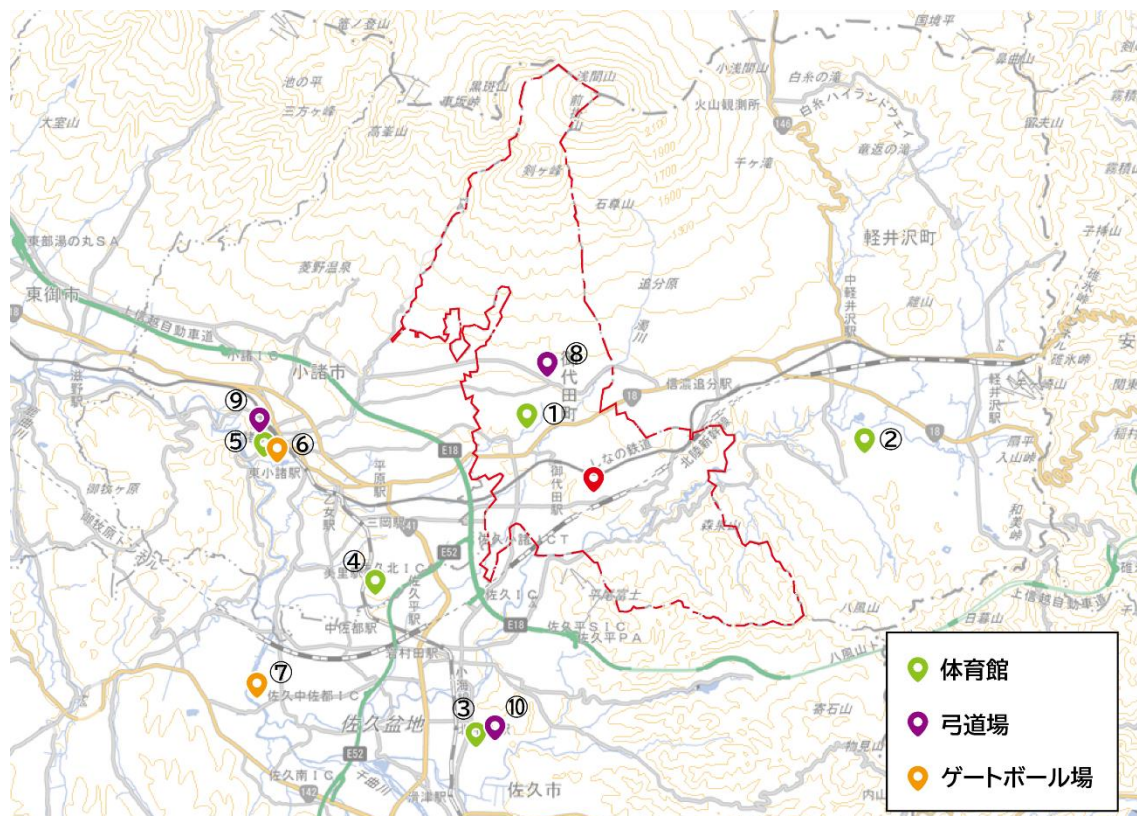


(御代田町統計書)

## 4. 御代田町を取り巻く社会経済とスポーツ情勢

### (1) 周辺自治体の主な体育施設

御代田町の周辺自治体(佐久市、小諸市、軽井沢町)における、当該施設の用途と類似の体育施設は、下図のような位置に立地しています。



| 種別  | No. | 施設名       | 所在地  | 主な用途                                                                                   |
|-----|-----|-----------|------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 体育館 | ①   | やまゆり体育館   | 御代田町 | ・バスケットボール、バレーなど                                                                        |
|     | ②   | 風越公園総合体育館 | 軽井沢町 | 【メインアリーナ】バスケットボール、ハンドボールなど<br>【サブアリーナ】柔道、剣道など<br>【スタジオ】ダンス、卓球など<br>【その他】会議室、ランニングコースなど |
|     | ③   | 佐久市総合体育館  | 佐久市  | 【大体育室】バスケットボール、バレーボールなど<br>【その他】トレーニング室、ランニングトラック、クラブ室、幼児体育室、会議室                       |
|     | ④   | 小諸市和田体育館  | 小諸市  | 【体育館】バスケットボール、バレーボールなど<br>【その他】ミーティングルーム、更衣室                                           |
|     | ⑤   | 小諸市総合体育館  | 小諸市  | 【体育館】バスケットボール、バレーボールなど                                                                 |

| 種別      | No. | 施設名             | 所在地  | 主な用途                         |
|---------|-----|-----------------|------|------------------------------|
|         |     |                 |      | 【その他】子供体育室、トレーニング室、会議室など     |
| ゲートボール場 | ⑥   | 屋内ゲートボール場すばーく小諸 | 小諸市  | ゲートボール、グラウンドゴルフ、サッカー・フットサルなど |
|         | ⑦   | 佐久市浅科多目的屋内運動場   | 佐久市  | ゲートボール、テニス、フットサル             |
| 弓道場     | ⑧   | 神津弓道場           | 御代田町 | 弓道                           |
|         | ⑨   | 小諸懐古射院          | 小諸市  | 弓道                           |
|         | ⑩   | 佐久市弓道場          | 佐久市  | 弓道                           |

## (2)町内のスポーツに関する状況

### ①活動団体等

御代田町では、スポーツ協会がスポーツの振興と各競技力向上を目指し、種目ごとのグループによる定期練習の他、各種大会への参加や町民向けの体験会や大会開催などを行っています。

また、軟式野球、サッカー、バレーボール、ミニバス、カーリング、硬式テニスのスポーツ少年団も組織され活動を行っています。

### ②スポーツ推進員制度

教育委員会が委嘱する非常勤職員として、スポーツの推進のための活動(イベントの企画・運営、スポーツに関する指導及び助言)を行っています。2年間の任期で令和7年4月1日現在、11名のスポーツ推進員に活動していただいています。

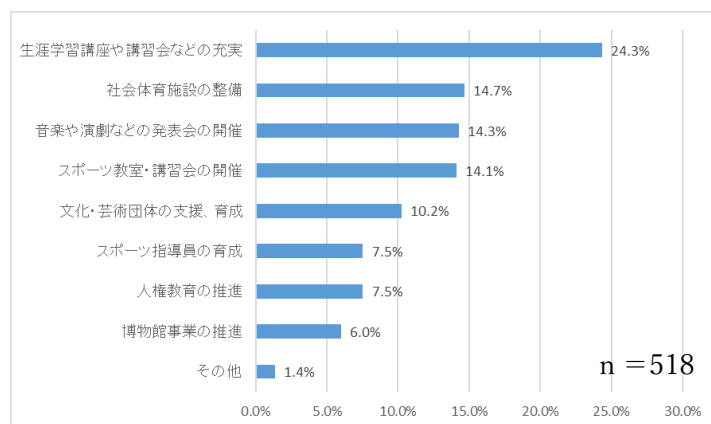
### ③スポーツを通した健康・体力増進、交流機会の創出

御代田町では、スポーツ協会やスポーツ推進員を中心に、ボッチャやモルックといったニュースポーツ体験会や町民大運動会やマラソン大会などを企画・運営し、町民の健康・体力増進や交流の機会づくりを行っています。

### ④町民の意識

住民アンケート調査(令和2年1月)における「各種教育・文化・スポーツの分野」において力を入れるべきだと思う取り組みとして、「社会体育施設の整備」、「スポーツ教室・講習会の開催」といった点が比較的高くなっています。

＜各種教育・文化・スポーツの分野における重点事項＞(住民アンケート調査:令和2年1月より)



## 5. アンケート・ワークショップの分析

本計画の検討にあたり、町民及び利用者を対象としたアンケート調査とワークショップを実施し、スポーツや社会体育施設についての意見を把握しました。

### (1) 町民アンケート調査

#### 1) 調査概要

|      |                                                                                                                                                                                                                                  |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象   | 16 歳以上の御代田町住民から 1,000 人を無作為抽出                                                                                                                                                                                                    |
| 期間   | 令和 7(2025)年 10 月 25 日(水)～11 月 18 日(火)                                                                                                                                                                                            |
| 回答方法 | アンケート票を送付し、同封の返信用封筒に入れ、アンケート票の返送(紙での回答)<br>または WEB アンケートでの回答                                                                                                                                                                     |
| 回収数  | 442(回収率:44.2%)                                                                                                                                                                                                                   |
| 設問項目 | ①フェイスシート<br>②スポーツや運動の実施について<br>・スポーツや運動の継続期間、理由<br>・e スポーツの経験、頻度<br>③社会体育施設の利用状況等について<br>・対象施設の利用状況、頻度、内容<br>・対象施設の利用しない理由<br>④新しい社会体育施設について<br>・新しい社会体育施設の利用意向<br>・新しい社会体育施設でやってみたいスポーツ<br>・新しい社会体育施設に期待する機能、スポーツ以外の機能<br>⑤自由意見 |

#### 2) 結果概要

##### ①新たなスポーツ等への対応ニーズ

バドミントンや卓球、バスケットボールといった、今の施設で利用しているスポーツでの利用の他に、フィットネス・ヨガ、トレーニングマシンなどを使用した運動などの新たなニーズがみられました。

##### ②交流・休憩スペースや飲食スペースなど、利用時のニーズ

シャワーやロッカーなどの老朽化した既存設備の更新だけでなく、交流・休憩スペースや飲食スペース、観覧スペースなど、利用者同士の交流や送迎者や観覧者などのスペースの充実に対するニーズがみられました。また、健康・体力測定・相談といった機能に対するニーズも高くなっています。

##### ③利用しやすい施設に対するニーズ

子どもや高齢者、障害者など誰もが利用しやすい施設、子どもの遊び場など子育て世代が利用しやすい施設の併設など、施設の設備や諸室に関する意見がみられました。

また、予約や料金体系、個人利用などの利用形態など、利用の仕組みなどによる利用しやすさに対する意見も見られました。

## (2)利用者アンケート調査

### 1)調査概要

|      |                                                                                                                                                                    |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象   | 対象施設利用者                                                                                                                                                            |
| 期間   | 令和 7(2025)年 10 月 25 日(水)～11 月 18 日(火)                                                                                                                              |
| 回答方法 | 対象施設にアンケート票を設置、利用者に対して配布等行った。<br>回答にあっては、アンケート回収箱への投函または WEB アンケートでの回答                                                                                             |
| 回収数  | 34                                                                                                                                                                 |
| 設問項目 | ①フェイスシート<br>②社会体育施設の利用状況等について<br>・対象施設の利用状況、頻度、内容、人数、時間数、時間帯<br>③新しい社会体育施設について<br>・新しい社会体育施設の利用意向<br>・新しい社会体育施設でやってみたいスポーツ<br>・新しい社会体育施設に期待する機能、スポーツ以外の機能<br>④自由意見 |

### 2)結果概要

#### ①日常的な利用が多い

利用者の多くが、週 1、2 回程度の練習などの目的で利用されています。また、20 人ほどのグループで 2～3 時間利用されていることが多い状況です。

午後や夜間の利用も多く、仕事帰りなどに利用されるなども想定されます。

#### ②新しい機能に対するニーズ

トレーニングマシンなどを使用した運動やトレーニング室やランニングコースの割合が高いことなどから、既存の施設にはない利用に対するニーズが高くなっています。

また、観覧スペースに対するニーズも高く、大会時などの待機スペースも含めたニーズがあるといえます。

### (3)ワークショップの実施

#### 1)実施概要

##### ①利用者ワークショップ

|      |                                              |
|------|----------------------------------------------|
| 日時   | 2025 年 11 月 29 日(土)9 時 30 分～11 時 30 分        |
| 場所   | 御代田町 B&G 海洋センター                              |
| 参加者数 | 12 名                                         |
| テーマ  | ①施設のいいところ、課題と思うところ<br>②新しい施設が「こうあったらいい」ということ |

##### ②町民ワークショップ

|      |                                                                         |
|------|-------------------------------------------------------------------------|
| 日時   | 2025 年 11 月 29 日(土)14 時 00 分～16 時 00 分                                  |
| 場所   | 御代田町役場 大会議室                                                             |
| 参加者数 | 10 名                                                                    |
| テーマ  | ①新しい体育施設でどういう使い方ができればいいかを出し合おう<br>②新しい体育施設があるエリアがどういう場所になっていったらいいかを考えよう |

#### 2)意見概要

##### ①既存のスポーツ利用の充実

練習などの日常利用時だけでなく、試合などでも利用がしやすいように、アリーナにおけるコート数の拡充などに対する意見が出されました。

また、ゲートボール場などについては、改修などにより複数のスポーツが利用可能にすることで使いやすい施設にしてほしいといった意見も出されました。

##### ②スポーツ機能以外に対するのなどに対するニーズ

更衣室や倉庫などの老朽化した設備等の更新の他に、観覧スペースや子どもを遊ばせられるスペースなどに対するニーズが出されました。

##### ③多様な利用者の使いやすい施設へのニーズ

将来の御代田を担う子どもが使う場所にしてほしい、あるいは、高齢者や障害者など誰もが使いやすい施設にしていくことなどの意見が出されました。

##### ④周辺施設との関係などに対する配慮

試合開催時は、周辺施設を駐車場として利用するなどの対応をしている状況や周辺に中学校や児童館などもある立地などを踏まえて、動線や駐車場のあり方などについて意見が出されました。

##### ⑤運営や広報に対するニーズ

利用時間や窓口などの使いやすさなどは維持してほしいという意見やもっと利用を増やすための周知の方法などに対する意見も出されました。

#### (4) アンケート・ワークショップの意見のまとめ

町民や利用者の意見から新社会体育施設の検討等につなげる視点を整理します。

##### ① スポーツ機能の充実

社会体育施設として、これまでに利用しているスポーツでの利用はもとより、トレーニングルームやフィットネス・ヨガなどの新たなニーズを受け止める施設に対するニーズが求められています。

##### ② 施設利用の質を高める機能の充実

シャワーや更衣室、ロッカーといった老朽化や時代のニーズにあわせた設備の拡充だけでなく、休憩・滞留、飲食スペース、子どものスペースといった、利用者などが施設で時間を過ごすためのスペースの充実が求められています。

##### ③ 新たな利用を育む施設の実現

御代田町におけるスポーツの取り組みなどを受け、より多くの利用につなげていくためにも、施設の複合化なども含め、子どもから高齢者、障害者などの様々な世代や立場の方々や様々なスポーツでの利用できるような施設にしていくことが求められています。

##### ④ 既存施設・周辺施設との動線等の確保

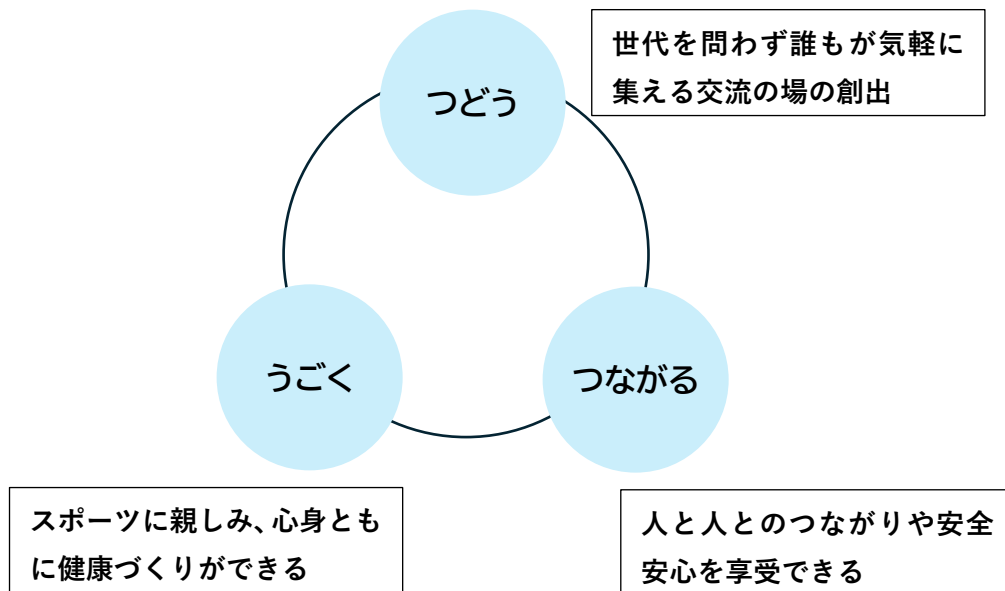
対象施設のなかで引き続き利用を継続する施設との動線などについても配慮等が求められています。

また、対象施設周辺には、芝生広場やテニスコート、児童館、雪窓公園など様々な施設が立地しています。それらの施設との行き来なども含めた動線のあり方も検討していく必要があるといえます。

## 第2章 御代田町新社会体育施設の基本的な考え方

### 1. 計画コンセプト

「つどう」、「うごく」、「つながる」  
誰もが気軽に集まり、利用を通した、スポーツと交流の場



### 2. 施設整備の基本的な考え方

①スポーツに気軽に親しみ、活発な活動を通して健康づくりなどに取り組む拠点となる施設

②スポーツを核に様々な世代や立場の人が集い、利用や交流ができる施設

③次世代の子どもが健全な育成や学びを得ることができる施設

④スポーツを通した活動などを通し、地域の価値やイメージ向上につながる施設

⑤災害に強いまちづくりとして、地域の安全や安心につながる施設

### 3. 施設整備にあたっての課題

#### (1) 周辺施設との関係に関する課題

町民に親しまれている林の広場をはじめ、芝生広場やテニスコートといった他の体育施設とともに、大林児童館や雪窓公園といった施設も周辺に立地しているため連携なども検討する必要があります。

北側及び東側には、住宅地も広がっており、住環境への配慮などを考慮する必要があります。

#### (2) アプローチに関する課題

対象地へは、都市計画道路大林中央幹線からアプローチ道路を介して進入するため、道路からの視認性等についても検討する必要があります。

また、児童館や小学校も近接し、利用者にも子どもが多いことから、歩行者への安全に配慮したアプローチ動線を検討する必要があります。

#### (3) 段階的な整備に関する課題

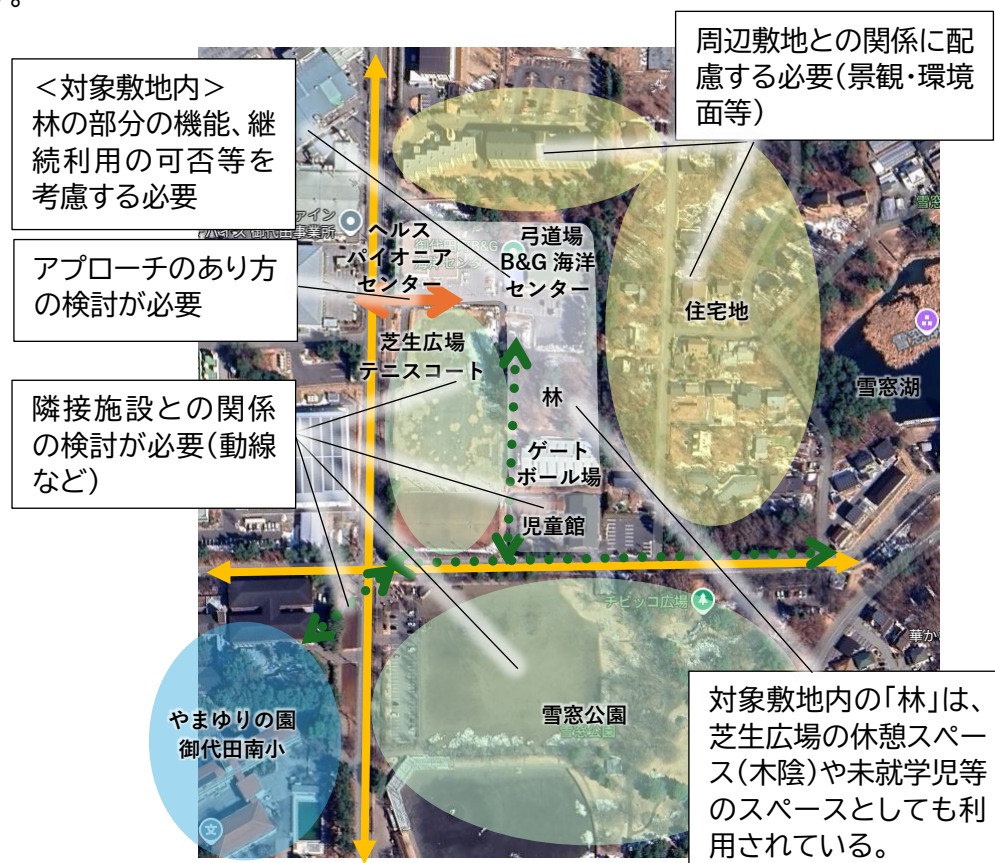
対象地において活用可能な空地は限られるため、既存施設の解体を含めた整備計画を検討する必要があります。

また、継続的な利用ニーズもあるため、整備期間のあり方についても検討する必要があります。

#### (4) 機能配置に関する課題

段階的な整備に関連して、既存施設を残す場合、既存施設と新施設との機能の再配分を含めて利用のあり方を検討していく必要があります。

また、既存施設で現状利用が可能な機能だけでなく、新たな機能導入などを含めて考えていく必要があります。



## 4. 施設の機能についての考え方

---

### (1) 導入機能についての考え方

新社会体育施設においては、下記の 5 つの機能を備えた施設とすることとします。

#### ①運動機能

多様なスポーツを行える広さと機能を有するアリーナなど、子どもから高齢者まで幅広い世代がスポーツに親しみ、活動を可能とする機能

#### ②利便性向上機能

スポーツの観覧や日常的な健康増進のための利用など、スポーツを「する」だけでなく、「みる」や「ささえる」などを含めた施設利用を増進させる機能

#### ③交流・活動支援機能

利用者同士が交流・休憩したり、利用者以外も気軽に訪れることのできるスペース、小さな子どもと親がスポーツや運動に親しむなど、スポーツなどに関連する活動ができる機能

#### ④防災機能

災害発生時などに必要な備品や設備などを有する緊急時の避難場所の機能

#### ⑤管理運営機能

利用者へのサービス提供や管理しやすさに配慮した事務所等の機能及びエネルギーの有効利用など環境などにも配慮した設備等の機能

## (2)導入機能と整備の方向性の考え方

### 1)導入機能に関する基本的な考え方

(1)で示した導入機能のうち、運動機能については、既存施設で行われている機能(スポーツ種目)は新施設整備後も利用可能とします。

また、町内で取り組んでいるものやワークショップ等で出された新しい機能の導入を最大限取り込む方向で検討します。

| 施設等             | 機能                                                                                                                                                              |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①B&G海洋センター      | <b>ア:運動機能</b><br>・バスケットボール、バレーボール、バドミントンなどでの利用<br><b>イ:ミーティングルーム機能</b><br>・調整会議等の実施 など<br><b>ウ:付帯施設</b><br>・トイレ、更衣室・シャワー室、倉庫 など<br><b>エ:管理運営機能</b><br>・事務所      |
| ②ヘルスパイオニアセンター   | <b>ア:運動機能</b><br>・主にフットサルでの利用<br><b>ウ:付帯施設</b><br>・トイレ、倉庫                                                                                                       |
| ③弓道場            | <b>ア:運動機能</b><br>・弓道<br><b>ウ:付帯施設</b><br>・倉庫                                                                                                                    |
| ④屋内ゲートボール場      | <b>ア:運動機能</b><br>・ゲートボール、グラウンドゴルフ、テニス(雨天時)<br><b>ウ:付帯施設</b><br>・トイレ、倉庫                                                                                          |
| ⑤導入機能への町民等からの意見 | <b>ア:運動機能</b><br>(ワークショップでの意見)<br>ハンドボール、モルック、ボッチャ、ランニング、子ども(幼児など)の運動室<br>(アンケートでの意見)<br>トレーニングジム、フィットネス・ヨガ<br><b>ウ:付帯施設</b><br>・観覧スペース、交流・待機スペース(子どもたちの宿題スペース) |

## 2)整備の方向性の基本的な考え方

導入機能に関する整備の方向性については、以下の通りとします。

### A:導入機能の基本的な考え方

#### ①運動機能

- ・P.24に示した機能のうち、利便性向上機能や交流・活動支援機能、管理運営機能等については、設備更新等も含め、利用者の使いやすさを向上する機能を導入するものとする。

#### ②公共施設として備える機能

- ・防災機能や管理運営機能など、公共施設として必要とする機能については、維持する。

#### ③敷地全体での機能の確保

- ・敷地内の林部分など、敷地全体で有する機能を確保していくような計画とする。

### B:既存施設の活用等に関する基本的な考え方

- ・既存施設については、その老朽度や利用状況なども踏まえ、継続使用も含めて検討する。(継続使用する場合の改修等については、町の財政状況なども踏まえ、別途検討を行う。)

### C:敷地及び配置に関する基本的な考え方

- ・施設の規模及び利用時の騒音等による周辺地域への影響等に配慮した配置とする。
- ・既存施設を含め、工事で利用を中断することなく、継続した利用に対するニーズがあるため、可能な限り、既存施設の利用を継続できる施設配置とする。
- ・導入機能及び配置においては、新施設における利用者の利便性を向上させるとともに、さらなる利用を促進するようなものとする。
- ・上記に示すような、既存施設との関係等を踏まえた動線計画とするなど、既存施設の利便性も向上させるような配置とする。
- ・上記の機能充実を図るとともに、既存施設や敷地全体の活用を踏まえ、施設の利用のしやすさなどを考慮し、できる限りコンパクトで無駄の少ない施設規模とする。
- ・工事期間については、搬入車両等の出入りなどもあり、対象敷地以外にも資材置き場など工事用地が必要となるが、上記のように継続利用等ができるようにできる限り影響範囲を小さくするよう努める。

## 第3章 御代田町新社会体育施設の整備方針

### 1. 施設の機能及び規模

第2章でまとめた機能の概要や施設のあり方を踏まえ、各機能について、既存のB&G海洋センター、ヘルスパイオニアセンターの利用状況、アンケートやワークショップ及び検討委員会の意見等から整備規模に適合するよう機能を選定します。

#### ①アリーナ機能

| 室名            | 考え方                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アリーナ          | <ul style="list-style-type: none"><li>・バスケットボールコート2面、バレーボールコート3面<br/>バドミントンコート6面を確保する。</li><li>・コート周りの安全エリア(安全帯)を確保する。</li><li>・災害時の避難所利用も想定する。</li><li>・天井高さはバレーボール利用時にも快適で、冷暖房効率や維持管理のしやすさなど管理面などに配慮した適切な高さとする。</li></ul> |
| 観客席           | <ul style="list-style-type: none"><li>・町民大会・小規模大会でも利用できる250席程度を確保する。</li></ul>                                                                                                                                              |
| トレーニング<br>ルーム | <ul style="list-style-type: none"><li>・各種トレーニングマシンの利用やストレッチ運動等に配慮する。</li><li>・面積は30人程度が利用できる大きさで設定する。</li></ul>                                                                                                             |
| 更衣室・<br>シャワー室 | <ul style="list-style-type: none"><li>・男女別に設け、シャワー室を併設(災害時対応したシャワー数を確保する)</li><li>・エントランス、アリーナ、各部門との動線に配慮する。</li><li>・大きさは適宜設定する。</li></ul>                                                                                 |
| 倉庫            | <ul style="list-style-type: none"><li>・アリーナへの備品の出し入れに配慮する。</li></ul>                                                                                                                                                        |

#### ②コミュニティ機能

| 室名   | 考え方                                                                                             |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議室  | <ul style="list-style-type: none"><li>・20人程度の利用を想定する。</li><li>・研修会や講習会等の音響や防音対策に配慮する。</li></ul> |
| 多目的室 | <ul style="list-style-type: none"><li>・会議やヨガなど多機能な使い方を想定する。</li><li>・Eスポーツにも対応する。</li></ul>     |

#### ③防災機能

| 室名   | 考え方                                                                                                                                            |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防災倉庫 | <ul style="list-style-type: none"><li>・災害時の避難所利用に備えた様々な物資や消耗品を保管する。備蓄規模は適宜設定する。</li><li>・非常用電源設備の設置(72時間運転)</li><li>・屋外からの直接利用に配慮する。</li></ul> |

④管理・共用機能

| 室名                      | 考え方                                                                                                                                                    |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務室                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・受付や施設管理しやすいようエントランスに面して配置する。</li> <li>・審判控室や医務室も兼ねた適切な大きさとする。</li> <li>・書庫と放送設備室を併設する。</li> </ul>              |
| ホワイエ<br>(エントランス<br>ホール) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・受付、階段、エレベーターなどが利用者に分かりやすい位置に配置する。</li> <li>・学習室機能やキッズスペース、自販機スペースも確保する。</li> </ul>                             |
| 廊下・階段                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・動線は短くして利用者の使い勝手に配慮する。</li> <li>・大人数の移動や車椅子利用者のすれ違いなど幅員に配慮する。</li> <li>・各種法令や条例に遵守したユニバーサルデザインに対応する。</li> </ul> |
| トイレ・<br>多目的トイレ          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部門からの動線に配慮して男女とも十分な数の便器を計画する。</li> <li>・各種法令や条例に遵守したユニバーサルデザインに対応する。</li> </ul>                               |
| 授乳室                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ママ、パパどちらでも対応できる仕様にする。</li> </ul>                                                                               |

## 2. 施設の設置場所

(1)建設地:北佐久郡御代田町御代田 4107 番地



(2)各種関係法令上の規制条件の整理

各種関連法令上の制約及び基本的条件は下記のとおりです。

|             |                                 |
|-------------|---------------------------------|
| 都市計画区域      | 線引きされていない都市計画区域                 |
| 用途地域        | 準工業地域(敷地南東側は第一種低層住居専用地域)        |
| 建ぺい率/容積率    | 60% / 200%                      |
| 防火地域        | 指定なし(町内全域で法 22 条、法 23 条区域の指定なし) |
| その他地域区域     | 無                               |
| 高さ制限        | 無                               |
| 道路斜線        | 前面道路反対の境界線より×1.5 距離は、20mまで      |
| 隣地斜線        | 境界線より×2.5+31m                   |
| 日影規制        | 第一種低層住居専用地域において、受影面 1.5m、3h・2h  |
| 埋蔵文化財       | 調査未実施                           |
| 景観計画        | 浅間山麓景観育成重点地域                    |
| 地区計画        | 無                               |
| 開発行為(都市計画法) | 無(都市計画法 29 条適用除外より)             |
| 開発行為(御代田町)  | 有                               |
| 長野県建築基準条例   | 有                               |
| バリアフリー法     | 有                               |

### 3. 周辺環境への影響と配慮

---

#### (1) 景観配慮計画

本施設は地域の新たな拠点となることから、景観形成において重要な役割を担います。そのため、周辺環境との調和を図りつつ、地域のシンボルとなるような外観計画を検討します。具体的には、建物の高さやボリュームを適切にコントロールし、圧迫感の軽減を図ります。

また、外装材や色彩については周辺の自然環境や既存施設との調和を重視し、落ち着いたデザインとします。さらに、エントランスや広場空間については開放感を重視し、地域住民が気軽に立ち寄れる空間を形成します。

夜間景観についても過度な照明とならないよう配慮し、安心感と安全性を両立する計画とします。

#### (2) 周辺地域への配慮

##### ① 建物ボリュームによる圧迫感の軽減

建物配置や高さ設定において、周辺住宅地への圧迫感を軽減するよう配慮した計画とします。

特に住宅に隣接する部分については、建物高さの抑制やセットバックを検討します。

##### ② 騒音の抑制

アリーナ利用時の音や屋外活動による騒音について、建物配置や遮音性能の確保により影響を低減する計画とします。

##### ③ 日照障害・光害の抑制

周辺地への日影の影響を軽減するため、平屋建て又は 2 階建てとすることで建物の高さを抑え、北側の境界から離して配置します。建物の配置計画にあたっては日影検討等を行い、周辺住宅への日照影響を最小限とします。外構照明についても、光の漏れや過度な照度を抑える計画とします。

##### ④ 視認性向上への配慮

幹線道路からの視認性を確保し、初めて訪れる利用者にも分かりやすい施設とします。

合わせて現状の分かり辛いアプローチを改善するなど土地利用計画にも配慮します。

## 4. 敷地利用計画

### (1)前提条件の整理

敷地利用計画においては、限られた敷地条件の中で機能性、安全性、経済性をバランスよく確保することが重要です。そのため、敷地利用計画の検討にあたり、敷地への出入口や駐車台数の考え方等、敷地利用の基本的な前提条件について整理します。

今回計画は解体撤去の必要になる建物や敷地内で継続利用が必要になる建物もあるため、建設から運用まで利用者にできるだけ影響のない整備手順の検討が必要になります。

駐車可能台数は、既存敷地内で約 100 台程度となっており、今回の計画でも同等以上の台数の確保が求められます。

なお、将来的な利用形態の変化にも対応可能な柔軟性を持たせるとともに、歩行者と車両の動線を分離した安全な動線計画とします。

#### ① 敷地への出入口

建設敷地はテニスコート、芝生広場、ゲートボール場、弓道場が同一敷地に建っているため、それぞれの施設への円滑なアクセスが望ましいと考えられます。

そのため、敷地への出入口は既存の通り、都市計画道路大林中央幹線からとします。



#### ② 駐車場の確保

駐車場の台数は、各施設の規模や現状以上の台数を確保するため、約 200 台程度を確保する計画とします。また、練習試合や大会時のバス利用に配慮してバス駐車場の計画も検討します。

#### ③ 建物形状

各種法令、バスケットボール・バレーボールなどの競技ルール、周辺環境への影響と配慮の観点から建物の階数は平屋建て又は 2 階建てとすることが望ましいと考えられます。

平屋建ての場合、建築面積が大きくなるため、駐車場や歩車動線の確保、建設費の縮減が難しくなります。また、ワークショップ等からも 2 階レベルの観客席の設置が望まれています。

以上のことから本計画では、2 階建てを想定し検討します。

また、アリーナを中心とした合理的な形状とし、構造的・経済的に優れた計画とします。

## (2) 敷地利用計画の比較検討

上記の前提条件等を踏まえて、次の2パターンの敷地利用計画案を作成し、比較検討しました。想定整備手順、周辺施設との関係、アプローチ、段階的な整備手順、機能配置の観点から検討します。

|           | A: 既存施設の利用を継続させながら建設                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                        | B: 敷地全体での既存機能を残しながら建設                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                          |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 配置例       |                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                          |
| 想定整備手順    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設の活用継続を図るために、林エリアに新施設整備</li> <li>①対象敷地の林の伐採伐根</li> <li>②新施設整備、竣工</li> <li>③既存施設解体</li> <li>④外構工事</li> </ul> |                                                                                                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスパイオニアセンター位置を対象敷地として設定。</li> <li>①ヘルスパイオニアセンター用途を移転</li> <li>②既存施設解体(ヘルスパイオニアセンター)</li> <li>③新施設整備、竣工</li> <li>④既存施設解体(B&amp;G 海洋センター)</li> <li>⑤外構工事</li> </ul> |                                                                                                                                                                          |
| ①周辺施設との関係 | △                                                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地東側の住宅地への影響がある。(景観上の変化など)</li> <li>・前面道路からの視認性が低い。</li> </ul>                                                                                 | ○                                                                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地東側の住宅地への影響は小さい。</li> <li>・前面道路からの視認性が高い。</li> </ul>                                                                            |
| ②アプローチ    | △                                                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の敷地内通路を活用し、芝生広場などを支障せず動線計画は検討可能。</li> <li>・工事期間は、敷地奥での整備となるため、建設時の仮設計画が複雑になる可能性がある。(資材置き場、既存施設利用者と搬入車両の動線分離のために、芝生広場を利用する必要がでてくる)</li> </ul> | △                                                                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の敷地内通路の部分も建築地に含まれる可能性があるため、工事段階から芝生広場を撤去し、敷地内通路を設置する必要が出てくる。</li> <li>・工事期間は、アプローチ道路から近接しているため、施設利用者等との動線を分けることが可能。</li> </ul> |
| ③段階的な整備手順 | ○                                                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設の使用を継続しながらの建て替えが可能。</li> </ul>                                                                                                             | △                                                                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設の使用を一部継続しながらの建て替えが可能。 ※ヘルスパイオニアセンターの解体が必要。</li> </ul>                                                                        |

|       |   |                                                                                                                                                                           |   |                                                                                                                       |
|-------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ④機能配置 | △ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・弓道場やゲートボール場を残す場合の動線計画、施設の共有部分のあり方などの検討が必要。(駐車場との関係など)</li> <li>・既存の林エリアを残すことができないため、別途林の機能(屋外の休憩スペース、未就学児のスペース)の整備が必要。</li> </ul> | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・林エリアを残すことが可能。</li> <li>・弓道場やゲートボール場を残す場合の動線計画、施設の共有部分のあり方などの検討が必要。</li> </ul> |
| 適正評価  | △ | 既存施設の継続利用を行いながら、建物の整備を行えるが、東側住宅地への影響や前面道路からの視認性が低いのが課題                                                                                                                    | ○ | ヘルスパイオニアセンターの代替施設の計画は必要になるが、周辺環境への影響が少なく、建物の視認性が高まる                                                                   |

以上のことから本計画では、周辺環境への配慮を最大限に行うことや既存の林を残していくことから B 案を想定し検討します。

## 立地エリア全体の敷地利用計画



周辺施設への配慮をしつつ、体育館の視認性の高まる B 案を基本とし、敷地全体を一体的に活用する計画とします。町全体のスポーツ環境の向上と効率的な施設運用を実現するものとし、林エリアを含む既存環境を活かし、周辺環境との調和や利用者の快適性に配慮した計画とします。

### ① 周辺環境への配慮

敷地東側の住宅地への影響を抑えるため、建物配置やボリュームに配慮し、圧迫感や景観への影響を低減する計画とします。既存の林エリアを可能な限り保全することで、景観の連続性や地域環境の質を維持するとともに、屋外の休憩空間や交流空間として活用することを検討します。

### ② 町のスポーツ拠点

町のスポーツ拠点としてのエリア的位置づけに配慮した計画とします。施設配置においては、各施設間の動線を整理し、利用者が円滑に移動できる環境を確保するとともに、競技利用や大会利用、日常利用のいずれにも対応可能な構成とします。また、駐車場との関係性にも配慮し、施設間のアクセス性を確保することで、敷地全体として機能するスポーツ拠点の形成を図ります。

### ③ 防災機能

災害時における地域の避難拠点として、安全かつ円滑な避難が可能な計画とします。新施設を中心に避難スペースを確保するとともに、既存施設や広場空間も含めた多様な避難場所として活用できる構成とします。また、敷地内の動線計画においては、緊急時におけるアクセス性や避難動線の確保に配慮し、避難者の受入れや物資搬入が円滑に行えるよう検討します。

### ④ バリアフリー・ユニバーサルデザイン

敷地全体において、すべての利用者が安全かつ円滑に移動できるよう、バリアフリーおよびユニバーサルデザインに配慮した計画とします。具体的には、駐車場から施設入口までの段差解消やスロープの設置、明確な動線計画により、誰もが利用しやすい環境を整備します。

## 5. 施設の建築計画

---

建築計画は、大きく意匠、構造、設備(電気・機械)の各分野により構成します。

意匠計画は、建築物の外観および内観デザインに加え、利用者動線の明確化や利便性の向上、さらには周辺環境との調和や景観への配慮を含めて総合的に計画します。特に本施設においては、多世代が利用する役割を踏まえ、誰もが使いやすく親しみやすい空間形成を図ります。

構造計画は、建物の構造的な安全性の確保を基本とし、大空間となるアリーナ機能に対応した合理的な構造形式を採用します。また、本施設が災害時の避難所としての機能を担うことを踏まえ、高い耐震性能を確保するとともに、安心・安全な施設づくりを目指します。

設備計画は、省エネルギー性や環境負荷低減に配慮しつつ、快適な室内環境を維持するための電気設備および機械設備の導入を図ります。また、効率的なエネルギー利用と維持管理性の向上を両立する計画とします。

これらの各計画は、整備方針に基づく施設規模や建設費を踏まえ、コストバランスに配慮しながら可能な限りコスト縮減を図るとともに、周辺環境への影響低減および防災機能の確保について最大限配慮した計画とします。

### (1) 意匠計画

#### ① コストバランスのとれたシンプルな計画

本施設は、公共施設として長期的に利用されることを前提とし、建設コストと維持管理コストの双方を考慮した計画とします。過度な装飾や複雑な形状を避け、構造的にも合理性の高いシンプルな建築とすることで、施工性の向上およびコストの抑制を図ります。

また、仕上材については耐久性や更新性を重視し、メンテナンス頻度の低減やライフサイクルコストの縮減に寄与する材料選定を行います。

#### ② わかりやすい利用者動線計画

本施設は子どもから高齢者まで幅広い利用が想定されるため、誰にとっても直感的に理解しやすい動線計画とすることが重要です。エントランスからアリーナ、観覧席、更衣室、会議室等の各諸室への動線を明確にし、視認性の高い配置とします。

特に、初めて訪れる利用者や大会利用時の来訪者にも配慮し、迷いにくく、ストレスの少ない動線とします。

#### ③ バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した計画

本施設は、多様な利用者が安全かつ快適に利用できるよう、バリアフリーおよびユニバーサルデザインの考え方を積極的に取り入れます。段差の解消やエレベーターの導入などにより、車いす利用者や高齢者にも配慮した計画とします。

また、多目的トイレや授乳室、更衣室の充実を図り、子育て世代や多様なニーズに対応する施設とします。視覚的なサイン計画についても、誰にとっても分かりやすい表示とし、施設内の移動を円滑にします。さらに、競技利用だけでなく日常的な健康づくりや交流の場としても利用されることを踏まえ、安心して滞在できる環境を整備します。

#### ④ 多用途利用への対応

本施設は、バスケットボールやバレーボール、バドミントン等の競技利用に加え、ニュースポーツや健康増進活動、地域イベントなど、多様な利用形態に対応することが求められます。そのため、アリーナ空間については必要な広さと高さを確保するとともに、ラインの複数対応などにより、多様な競技への対応を可能とします。

さらに、観客席やトレーニングルーム、多目的室、会議室などを併設することで、「する」スポーツだけでなく、「みる」「ささえる」活動にも対応できる施設とします。これにより、日常利用から大会利用まで幅広く対応可能な施設とします。

### (2) 構造計画

#### ① 耐震安全性の目標

本施設は、多くの町民が日常的に利用する公共施設であるとともに、災害時には避難所としての役割を担うことが想定されることから、高い耐震安全性を確保した計画とします。

耐震安全性の目標については、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準(令和3年版)」に基づき、構造体Ⅱ類、建築非構造部材 A 類、建築設備乙類を目標として計画します。

構造体については、大地震動後においても施設の人命安全性を確保するとともに、必要な機能を継続できる性能を確保します。あわせて、天井、外装材、内装材等の非構造部材についても、地震時の落下や損傷による二次被害を防止し、安全な避難行動や施設利用に支障が生じないように配慮します。さらに、電気設備、機械設備等の建築設備についても、災害時に必要な機能を維持できるよう計画し、防災拠点としての信頼性向上を図ります。

このように、本施設の構造計画は、日常利用時の安全性のみならず、災害時における継続利用性や防災機能の確保を重視したものとします。

#### ② 構造形式

本施設の構造形式については、アリーナを中心とした大空間を安全かつ合理的に実現するとともに、建設コストおよび維持管理性にも配慮した計画とします。

基壇部分については、安定性、耐久性および耐震性に優れた鉄筋コンクリート造(RC 造)を基本とし、管理諸室、更衣室、機械室等の諸機能を効率的に配置する計画とします。RC 造とすることで、地震時の安全性を高めるとともに、日常利用における耐久性や防火性の確保を図ります。

一方、アリーナ上部の大空間部分については、長スパンに対応しやすい鉄骨造(S 造)を想定します。これにより、多様な競技利用や大会利用に対応可能な計画とします。

基礎形式については、今後の地盤調査結果を踏まえ、支持地盤の位置や地耐力に応じて適切に設定します。基礎計画にあたっては、安全性を十分に確保したうえで、支持地盤に応じた合理的かつコストを抑えた基礎形状を採用するものとします。

このように、構造形式は、施設に求められる大空間性能、耐震性能、経済性および施工性のバランスを総合的に考慮し、御代田町新社会体育施設にふさわしい合理的な構造計画とします。

### (3)設備計画

設備計画は、本施設の利用者の快適性と利便性の確保を基本として計画します。また、省エネルギー性や環境負荷の低減に配慮するとともに、施設の運用実態を踏まえた効率的な設備構成とします。電気設備および機械設備については、それぞれの機能を適切に連携させ、安定した施設運営を支えるとともに、維持管理性や更新性にも配慮した計画とします。

#### ① 電気設備の概要

電気設備計画においては、安全性、利便性、省エネルギー性および維持管理性に配慮した計画とします。

受変電設備については、施設規模および利用形態に応じた適切な容量を確保し、安定した電力供給が可能な計画とします。

照明設備については、アリーナにおける各種競技や大会利用に対応可能な照度を確保するとともに、LED 照明の採用により省エネルギー化を図ります。また、用途や時間帯に応じた調光制御を行うことで、エネルギー消費の低減および快適な視環境の確保を図ります。

コンセント設備や情報通信設備については、トレーニングルームや多目的室、会議室等での多様な利用を想定し、十分な数および配置を確保します。また、無線 LAN 環境の整備により、利用者の利便性向上や大会運営時の情報発信等に対応可能な計画とします。

館内放送設備を適切に配置し、日常利用時の案内や施設運営の円滑化に資する計画とします。

#### ② 機械設備の概要

機械設備計画においては、利用者の快適性の確保と環境負荷の低減を両立することを基本とし、効率的かつ維持管理性に優れた計画とします。

空調設備については、アリーナ、トレーニングルーム、多目的室等の用途に応じた適切な方式を採用し、季節や利用状況に応じて快適な室内環境を確保します。特にアリーナについては、大空間特有の温度むらや空気の滞留を防ぐため、気流計画に配慮した設備構成とします。また、省エネルギー性の向上を図るため、高効率機器の採用やインバータ制御の導入等により、エネルギー消費の削減を図ります。さらに、自然換気や外気利用などの手法も検討し、環境負荷の低減に配慮した計画とします。

給排水設備については、利用者数や施設規模に応じた適切な能力を確保し、衛生的で安定した水供給および排水処理を行います。節水型器具の採用により、水資源の有効利用を図るとともに、維持管理負担の軽減にも配慮します。さらに、更衣室やシャワー室等の利用を踏まえ、給湯設備についても効率的なシステムを採用し、エネルギー消費の抑制と快適性の確保を両立します。

## (4)防災計画

### ① 災害時の考え方

本施設は、御代田町における地域防災拠点として位置づけ、災害時には避難所として利用することを想定した計画とします。

御代田町では、地震災害、浅間山に起因する降灰、局地的な豪雨による浸水、積雪などの災害が想定されることから、これらに対応可能な施設とします。

地震時にはアリーナを中心に避難スペースとして活用し、多数の避難者を受け入れることを想定します。また、周辺の住宅地からの一時避難にも対応できるよう、円滑な受入れが可能な計画とします。

### ② 防災設備の考え方

防災設備については、避難所として必要な機能を確保するため、適切に整備するものとします。

防災倉庫は、食料や飲料水、毛布、簡易トイレ等の備蓄が可能な規模とし、迅速な使用が可能な配置とします。

非常用発電設備は、停電時においても照明や給水設備等の最低限の機能を維持できるよう計画します。また、空調設備についても一部バックアップを確保し、夏季・冬季における避難環境の悪化を防ぐため、最低限の空調機能を維持できるよう配慮します。

さらに、災害時のトイレ機能を確保するため、下水道に接続可能なマンホールトイレの設置を検討し、断水時やトイレ使用制限時においても衛生環境を維持できる計画とします。

また、避難生活への配慮として、トイレや更衣室等の衛生設備の充実を図るとともに、間仕切りの設置などによりプライバシー確保にも配慮します。

## (5)環境計画

### ① 省エネルギー

本施設においては、環境負荷の低減および運用コストの縮減を図るため、省エネルギー性能の高い施設となるよう検討します。

具体的には、高効率な空調設備や照明設備の採用、断熱性能の向上、自然採光や自然通風の活用などにより、エネルギー消費の抑制を図る計画とします。また、用途や利用状況に応じた設備制御の導入についても検討し、効率的なエネルギー運用が可能となるよう配慮します。

これらにより、快適な室内環境を確保しつつ、環境負荷の低減と経済性の両立を図る施設とすることを目指します。

### ② 再生可能エネルギーの活用

本施設においては、再生可能エネルギーの導入について検討し、環境負荷の低減および持続可能な施設運営に寄与する計画とします。

具体的には、太陽光発電設備や地中熱の導入可能性を検討するとともに、施設規模や設置条件を踏まえた適切な導入手法を検討します。また、導入にあたっては、初期コストおよび維持管理コストとのバランスを考慮し、経済性にも配慮した計画とします。

さらに、将来的なエネルギー利用の高度化や技術動向にも対応できるよう、柔軟性を持った計画とすることを検討します。

## (6)外構計画

外構計画においては、来訪者の利便性を考慮した駐車場や駐輪場を適切に配置するとともに、歩行者と車両の動線を分離し、安全性の確保を図ります。

また、エントランス周辺には広場空間を設けるなど、日常的な交流やイベント利用にも対応可能な計画とします。さらに、植栽計画により景観への配慮を行うとともに、季節感や潤いのある環境を創出します。

さらに、建物内部のスペースには限りがあることから、すべての機能を屋内に配置するのではなく、敷地全体を有効活用した計画とします。その一環として、建物外周部にランニングコースを整備し、日常的な健康づくりや軽運動の場として活用できる環境を確保します。

## (7)ゾーニング計画

### ① 検討のポイント

ゾーニング計画においては、アリーナを中心とした施設構成を基本とし、利用者動線、管理動線、機能配置の合理性および事業費制約を踏まえ、日常利用から大会利用まで円滑に対応できる計画とします。

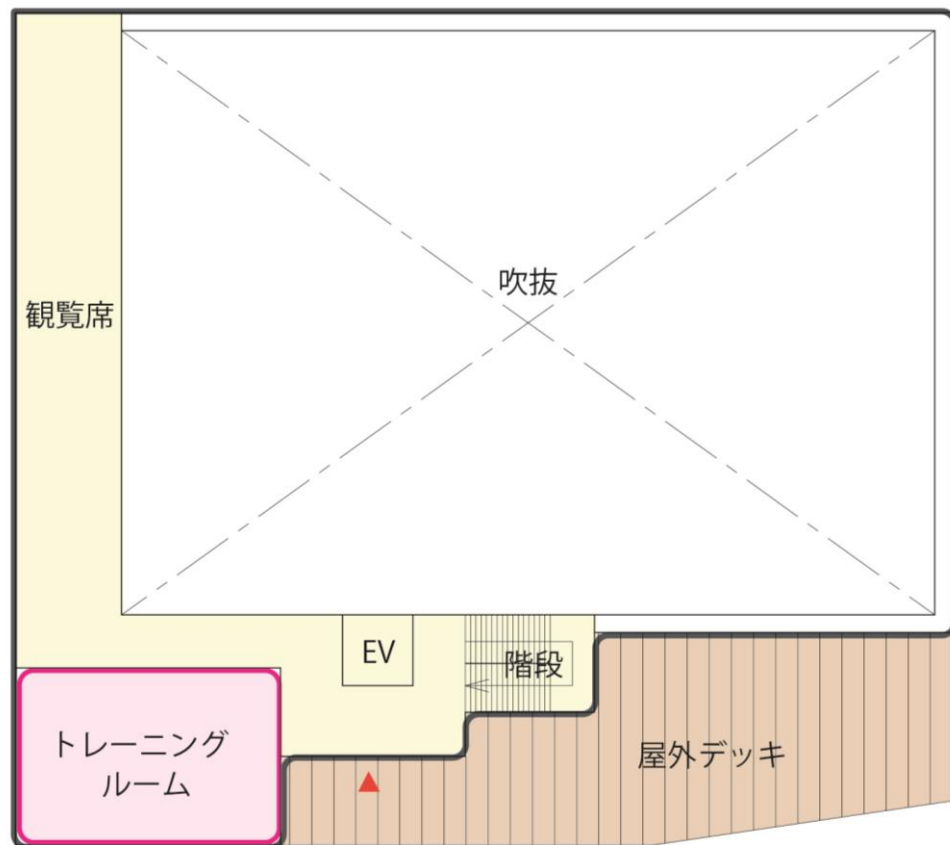
| ゾーニングにおける検討のポイント                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・アリーナを中心とした明快な施設構成とし、主要機能を合理的に配置する</li><li>・利用者動線と管理動線を分離し、安全性および運営効率の向上を図る。</li><li>・更衣室、シャワー室、倉庫、事務室等はアリーナに近接配置し、運営効率を高める</li><li>・会議室や多目的室はホワイエ付近に配置し、単独利用にも対応可能な計画とする</li><li>・ホワイエを中心とした動線構成とし、各機能へのアクセス性を確保する</li><li>・面積効率を高めるため、諸室の兼用や共用化を積極的に図る</li></ul> |  |

### ② 各機能における推定面積と要求諸室

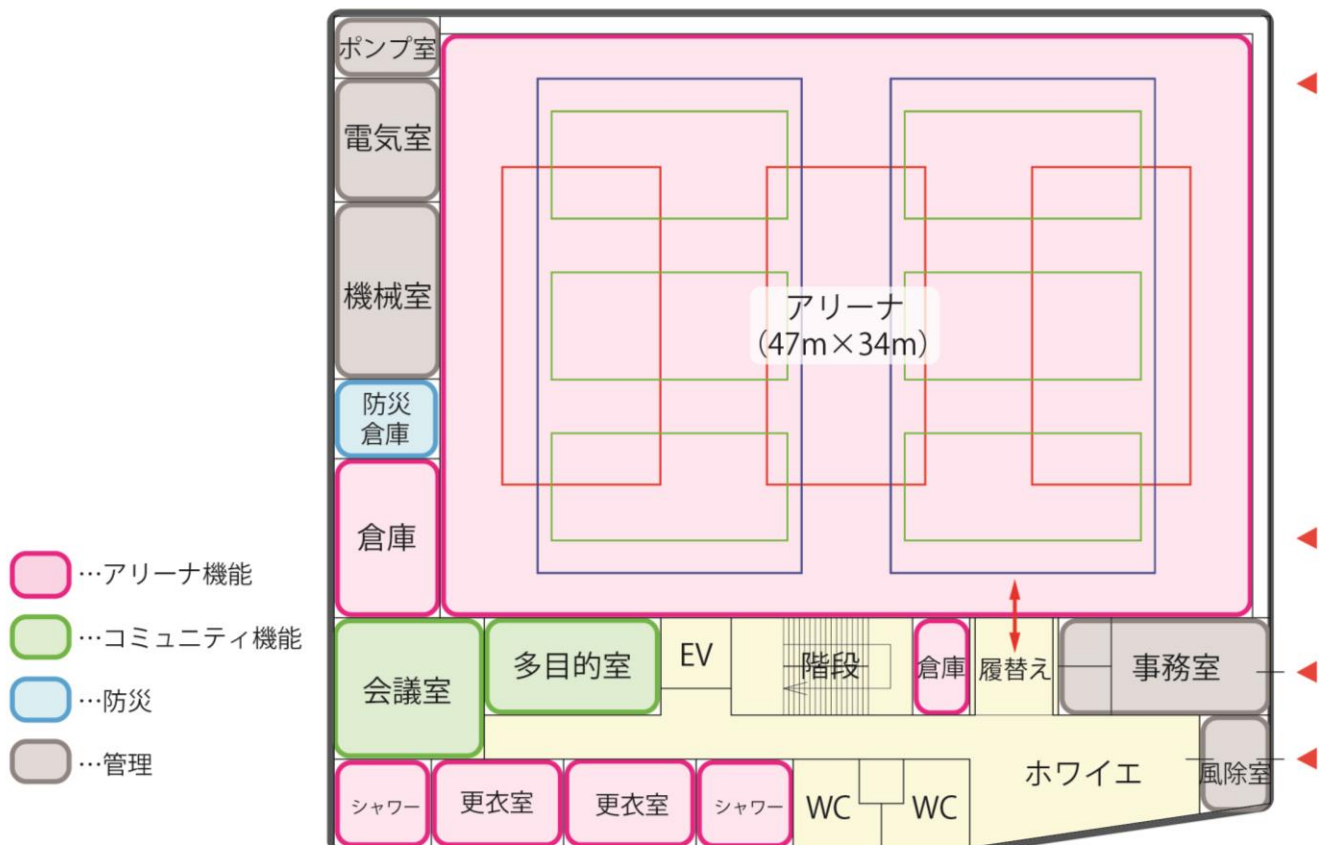
| 機能区分     | 推定面積<br>(㎡) | 要求諸室                                           | 備考            |
|----------|-------------|------------------------------------------------|---------------|
| アリーナ機能   | 約 2,200     | アリーナ、観客席、トレーニングルーム、更衣室、シャワー室、トイレ、多目的トイレ、体育館用倉庫 | 競技・大会・日常利用に対応 |
| 管理機能     | 約 420       | 事務室、書庫、機械室、電気室、ポンプ室                            | 運営・設備管理       |
| コミュニティ機能 | 約 100       | 会議室、多目的室                                       | 地域利用・交流機能     |
| 共用部      | 約 250       | ホワイエ、授乳スペース、廊下、階段、EVホール                        | 動線・滞留・交流空間    |
| 防災機能     | 約 30        | 防災倉庫                                           | 備蓄・災害対応       |

③ 基本方針案のゾーニングイメージ

■2階ゾーニング



■1階ゾーニング



④ 基本方針案の概算面積

| 機能     | 諸室名       | 基本面積                 | 室数 | 合計面積                 | 備考                          |
|--------|-----------|----------------------|----|----------------------|-----------------------------|
| アリーナ   | アリーナ      | 1,600 m <sup>2</sup> | 1  | 1,600 m <sup>2</sup> | バスケ 2 面+バレー3 面を安全帯付きで確保     |
|        | 観客席       | 250 m <sup>2</sup>   | 1  | 250 m <sup>2</sup>   |                             |
|        | トレーニングルーム | 150 m <sup>2</sup>   | 1  | 150 m <sup>2</sup>   |                             |
|        | 更衣室       | 50 m <sup>2</sup>    | 2  | 100 m <sup>2</sup>   |                             |
|        | シャワー室     | 20 m <sup>2</sup>    | 2  | 40 m <sup>2</sup>    |                             |
|        | 倉庫        | 60 m <sup>2</sup>    | 1  | 60 m <sup>2</sup>    |                             |
|        | 小計        |                      |    | 2,200 m <sup>2</sup> |                             |
| コミュニティ | 会議室       | 50 m <sup>2</sup>    | 1  | 50 m <sup>2</sup>    |                             |
|        | 多目的室      | 50 m <sup>2</sup>    | 1  | 50 m <sup>2</sup>    |                             |
|        | 小計        |                      |    | 100 m <sup>2</sup>   |                             |
| 防災     | 防災倉庫      | 30 m <sup>2</sup>    | 1  | 30 m <sup>2</sup>    |                             |
|        | 小計        |                      |    | 30 m <sup>2</sup>    |                             |
| 共用     | ホワイエ      | 150 m <sup>2</sup>   | 1  | 140 m <sup>2</sup>   | 学習室、キッズスペースを兼ねる             |
|        | 授乳スペース    | 20 m <sup>2</sup>    | 1  | 20 m <sup>2</sup>    |                             |
|        | エレベーター    | 20 m <sup>2</sup>    | 1  | 20 m <sup>2</sup>    |                             |
|        | トイレ       | 30 m <sup>2</sup>    | 2  | 60 m <sup>2</sup>    |                             |
|        | 多目的トイレ    | 10 m <sup>2</sup>    | 1  | 10 m <sup>2</sup>    |                             |
|        | 小計        |                      |    | 250 m <sup>2</sup>   |                             |
| 管理     | 事務室       | 50 m <sup>2</sup>    | 1  | 50 m <sup>2</sup>    | 医務室、受付、審判控室を兼ねる             |
|        | 書庫        | 10 m <sup>2</sup>    | 1  | 10 m <sup>2</sup>    |                             |
|        | 放送設備室     | 10 m <sup>2</sup>    | 1  | 10 m <sup>2</sup>    |                             |
|        | その他       | －                    | －  | 350 m <sup>2</sup>   | 機械室、電気室、ポンプ室、廊下、階段、EV ホールなど |
|        | 小計        |                      |    | 420 m <sup>2</sup>   |                             |
| 合計     |           |                      |    | 3,000 m <sup>2</sup> |                             |

## 第4章 事業計画

### 1. 事業スケジュール

---

#### ○本体工事

- ・令和 8 年 8 月～ : 用地測量
- ・令和 9 年 8 月～ : 基本設計・実施設計
- ・令和 10 年 7 月～ : 本体工事
- ・令和 11 年 10 月 : 供用開始

#### ○ゲートボール場改修工事

- ・令和 9 年 4 月～ : 基本設計・実施設計
- ・令和 9 年 6 月～ : 改修工事

#### ○解体工事

- ・令和 8 年 8 月～ : アスベスト調査
- ・令和 9 年 4 月～ : ヘルスパイオニアセンター解体設計
- ・令和 9 年 11 月～ : ヘルスパイオニアセンター解体工事
- ・令和 10 年 11 月～ : B&G 海洋センター解体設計
- ・令和 11 年 10 月～ : B&G 海洋センター解体工事

#### ○外構工事

- ・令和 12 年 2 月～ : 外構工事
- ・令和 12 年 8 月 : 引渡し

### 2. 概算事業費

---

本施設建設の概算事業費については、県内における同種・同規模施設の整備事例を参考に検討を行い、一般的な民間利用を想定した単価として 70 万円/㎡(令和 7 年度時点)で設定し、約21億円(税抜)の事業費を見込んでいます。ただし、解体工事、外構工事、設計料等は別途となります。

なお、近年は建設資材価格や労務単価の上昇が継続しており、世界的な資源価格の高騰や為替変動、物流の不安定化などの影響を受け、建設資材の調達難や建設労働者の不足が顕在化しています。これらの要因により、今後も建設工事費の上昇が続く可能性があることから、事業期間中における建設コストの増加についても十分に考慮する必要があります。

詳細な建設事業費については、本計画で求められる機能および品質の確保を前提としつつ、御代田町の財政状況を踏まえ、工期の短縮や設計段階における仕様の最適化、建設段階における効率的な施工方法の採用等により、コスト削減の可能性について継続的に検討していく必要があります。

### 3. 補助金活用の検討

新社会体育施設の整備にあたっては、下記の交付金の活用を想定して検討を進めます。

| 名称               | 管轄                     | 事業対象                                                            | 補助率                                      | その他                                            |
|------------------|------------------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 地域未来交付金          | 内閣府                    | 地域活性化拠点整備等、自主性と創意工夫に基づく地域の独自の取組としての公園等整備                        | 1/2<br>(上限 10 億円/年度)                     | 事業期間:原則 3 か年度以内(最長 5 か年度)                      |
| スポーツ振興くじ助成金      | 独立行政法人<br>日本スポーツ振興センター | 体育館、運動場付帯施設等の改修                                                 | 4/5<br>(上限 6 千万円等)                       |                                                |
| 学校施設環境改善交付金      | スポーツ庁                  | 地域スポーツ拠点(体育館等)の改修                                               | 1/3                                      | ※公共施設を相手方とする、社会体育施設の複合化・集約化の場合は、補助率を 1/2 に引き上げ |
| 社会資本整備総合交付金      | 国土交通省                  | 体育館、公園施設の再編・改修                                                  | 1/2                                      |                                                |
| 都市構造再編集<br>中支援事業 | 国土交通省                  | 立地適正化計画に基づく、防災力強化の取組(避難所の改修等)を対象とした事業<br>(公園・体育館の防災、複合化、集約整備など) | 1/2(都市機能誘導区域内等、地域生活拠点内)<br>45%(居住誘導区域内等) |                                                |

## 4. 民間活力導入手法の検討

### (1) 事業手法の検討

#### 1) 建設を含む民間活力導入手法の検討

新社会体育施設整備にあたって、民間活力導入が想定される事業手法については、建設(設計・施工)及び運営(維持管理・運営)の段階における民間活力の導入を検討しました。

|                                         |                                                                    |
|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| ①従来方式                                   | 通常の公共事業の実施手法。公共が資金調達を負担し、設計、建設、維持管理及び運営等の業務ごとに民間事業者に請負・委託契約を発注する方式 |
| ②DB 方式<br>(Design-Build)                | 公共が資金調達を負担し、民間事業者に設計・建設を一括で発注する方式(デザインビルド方式)                       |
| ③DBO 方式<br>(Design-Build-Operate)       | 公共が資金調達を負担し、民間事業者に設計・建設、運営を民間事業者に一括で発注する方式                         |
| ④PFI(BTO)方式<br>(Build-Transfer-Operate) | 民間事業者が施設を建設し、施設完成直後に公共に所有権を移転し、民間事業者が維持管理及び運営を行う方式                 |

#### ■想定される事業手法の比較

|           | ①従来方式                                                                    | 民間活力導入手法(PPP 手法)                                                                           |                                                                      |                                                    |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
|           |                                                                          | ②DB 方式                                                                                     | ③DBO 方式                                                              | ④PFI(BTO)方式                                        |
| 設計/D      | 個別発注(委託)                                                                 | 一括発注                                                                                       | 一括発注                                                                 | 一括発注                                               |
| 建設/B      | 個別発注(請負)                                                                 |                                                                                            |                                                                      |                                                    |
| 維持管理・運営/O | 個別発注<br>(直営 or 委託)                                                       | 個別発注<br>(直営 or 委託)                                                                         |                                                                      |                                                    |
| 資金調達      | 公共                                                                       | 公共                                                                                         | 公共                                                                   | 民間 or 公共                                           |
| 施設の所有     | 公共                                                                       | 公共                                                                                         | 公共                                                                   | 公共                                                 |
| メリット      | ・設計、建設、運営の各段階において、個別に仕様を定め発注できるため、求める性能を確保しやすい。<br>・設計段階での市民意見聴取と反映ができる。 | ・設計・建設、維持管理・運営の一括発注のため民間の工夫が発揮でき、工期短縮やコストの縮減が期待され、市側の事務手続きの負担は軽減される。<br>・PFI より早急に着手可能となる。 | ・設計・建設、維持管理・運営の一括発注のため民間の工夫が発揮でき、工期短縮やコストの縮減が期待され、市側の事務手続きの負担は軽減される。 |                                                    |
| デメリット     | ・各業務の発注ごとに、都度発注事務が発生する。<br>・一体的なコスト縮減効果への期待が低い。                          | ・要求水準書等の作成が必要である。<br>・設計段階での市民意見の反映が難しい。                                                   | ・要求水準書等の作成が必要である。<br>・設計段階での市民意見の反映が難しい。                             | ・PFI 法の手続きで、事業者選定に要する期間が長い。<br>・設計段階での市民意見の反映が難しい。 |

## 2)運営及び維持管理における官民連携手法の検討

新社会体育施設においては、完成後の運営及び維持管理が重要であるという考え方から、運営・維持管理段階における民間活力導入のあり方も検討しました。

### <維持管理に係る民間活力導入手法の種類>

|       | 包括的民間委託                                                                                                                                                                | 指定管理者制度                                                                        | PFI 手法                                                                                                                |                                                                                               |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
|       |                                                                                                                                                                        |                                                                                | コンセッション方式                                                                                                             | PFI-O                                                                                         |
| 内容    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の維持管理・運営に係る業務において、詳細な業務運営を定めず、複数の業務における性能発注によって民間企業に委ねることで民間の創意工夫を活かした効率的なサービス提供を行う。</li> <li>・複数年度にわたり業務委託を行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の管理運営を指定管理者が包括的に代行する制度。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料金を収受する公共施設等について、公共側が施設の所有権を有したまま、民間事業者が運営権を取得し、施設の維持管理、運営等を行う手法</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者が公共施設等の維持管理・運営等を長期間にわたり一括発注(性能発注)する方式</li> </ul> |
| 根拠法令  | —                                                                                                                                                                      | 地方自治法<br>(2003 年改正)                                                            | PFI 法<br>(2011 年改正)                                                                                                   | PFI 法<br>(1999 年)                                                                             |
| 維持管理  | 民間                                                                                                                                                                     | 民間                                                                             | 民間                                                                                                                    | 民間                                                                                            |
| 運営    | 民間                                                                                                                                                                     | 民間                                                                             | 民間                                                                                                                    | 民間                                                                                            |
| 施設の所有 | 公共                                                                                                                                                                     | 公共                                                                             | 公共                                                                                                                    | 公共                                                                                            |
| 資金調達  | 公共                                                                                                                                                                     | 公共                                                                             | 民間※                                                                                                                   | —                                                                                             |

※施設の増改築のために追加投資する場合

## (2)民間活力導入の方向性について

新社会体育施設については、設計段階でも町民や利用者の意見を踏まえた検討を進めることが望ましいことから、建設においては、従来手法によってすすめることが望ましいと考えます。

また、現時点での運営及び維持管理の方策については、複数施設の複合化、利用者のニーズを広く受け止める施設のあり方などの検討が必要なことなどから、設計と並行して運営及び維持管理の検討を引き続き進めるものとします。